



株式会社ピーシーデポコーポレーション
www.pcdepot.co.jp

●本書物は、弊社と本文趣旨に沿った関係者との間の守秘義務の対象となる機密情報、または弊社が著作権を保有する著作物です。本書物等に第三者の著作物等が引用されている場合、引用部分の著作権は引用元に帰属します。本書物の無断で複写、転写、転載、改竄、開示配布は法令に基づき禁止されております。「SMARTLIFE」「デジタルライフプランナー®」は株式会社ピーシーデポコーポレーションの登録商標です。



Digital Life Planner® for Every home

当社は、今年30周年を迎え、そして31期として、会員皆様と一体となって地域に貢献する理念共創型会員制倶楽部“スマートライフメンバーズクラブ”の運営を開始。成長に向け、新たな1年をスタートいたします。

皆様には、30年の間、辛抱強く、そして寛容的にお付き合いいただきましたこと、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。未だ恩返しはできておりませんが、皆様にとって「もう一つの我が家」となれるよう、新たな1年、そして次の30年の成長に向けて、クラブ設備や会員制度など、整備を順次進めて参ります。

さて、当社は2018年5月25日に「ステークホルダーの皆様」書簡を発表し、社員一同は、基本理念、CSRの基本方針に則り、事業の成長と持続性を担保することを皆様にお約束いたしました。

今後、“スマートライフメンバーズクラブ”の地域普及拡大で地域社会に貢献していくことが、当社の使命と認識しています。

街のあちこち、どれもこれもデジタル化。私たちが暮らす社会は、デジタル化へ移行しようとしています。ですが、家族皆様の明日のお買い物や、来年のご旅行、コンサートのチケットは、安心安全に買えているでしょうか？

近い将来、くらし・学習・仕事は、家族で楽しく、そして安全で安心な、充実した時間になっているでしょうか？

私たちは、そんな皆様のお茶の間に“デジタルの明かり”を灯すことができているでしょうか？

それは、地域の会員皆様に支えられ、地域に根ざすことができた当社の社会的存在意義であり私たちが果たすべきことと認識しています。

今後も、量から質へ、物の豊かさから心の豊かさへ、現在価値から将来の価値へ、シフトして参ります。引き続き、会員家族はじめ、ステークホルダーの皆様と相互互信、コミュニケーションを深め、会員クラブと当社の成長と拡大をもって持続性を担保することで、皆様の期待に応えていく決意です。

皆様には、引き続きお付き合いいただきますよう、切にお願い申し上げます。

INDEX

PCデボについて・人的資本経営ヒストリー

スマートライフレポートへの思い	01
理念体系	03
私の社会的存在意義、果たすべき使命	04
トップメッセージ	05

PCデボの経営戦略

資産の深化へ	11
資産の概要	13
人的資本	15
製造資本	17
社会・関係資本	23
人的資本～安全基準	27
知的財産	29
財務資本 / 自然資本	31
価値創造プロセス	33
PCデボグループ戦略の展開	35
会員総会	39
地域をつなぐ中心へ～クラブ施設	41
デジタルライフプランナー®資格制度について	49
安全のしおり	53
くらしのデジタル 安全講習	59

5つの価値提供～当社のマテリアリティ～

Social[社会]会員様の声	63
Environment[環境]PCデボが取り組む環境対策	67
Education[教育]人的資本型モデル	69
Entertainment[楽しさ]進化を続ける創造性	71

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	74
リスクマネジメント	77
役員の紹介	79
グループフォーメーション2025	80
財務情報	
財務・非財務ハイライト	81
11カ年主要財務指標	83
会社概要	85
デジタルライフプランナー®ネットワーク	86

デジタルを通して くらしを豊かにすること

Vision デジタル化する社会における格差を解消する

Mission 全てのお宅にデジタル担当を

Strategy LTV(Life Time Value)を軸にした経営

当社はさまざまな社会構造の変化に対応し、カスタマーサクセス(将来のデジタル化した社会におけるくらしの価値増加)を実現する企業として上記のVisionとMissionを掲げております。

すべてのステークホルダーの皆様にとって、共通の“倫理観・道徳観を備えた持続性を持った社会的存在意義”のある会社として存在でき、将来展望を描けるよう持続可能な経営をデザインいたします。デジタルを通してご家族様の豊かなくらしを創出できるよう、「一家に一人のデジタル担当」として貢献してまいります。

Digital Life Planner[®]

私の社会的存在意義～果たすべき使命

社会の仕組みが変わっても、くらしを止めない
デジタルで広がる豊かなくらしをサポートしていきます

ご家族全てを担当すること

ご家族はもちろん、離れて暮らすおじいちゃんや
おばあちゃんを含めて担当していきます

くらしを全て含めて担当すること

日々のくらしにおける、様々なデジタル手続きや
スマートフォンなどデジタル機器類での問題解決
あらゆる側面からサポートしていきます



デジタルライフプランナー[®] としての責務

未来のくらしを安全で経済的な 持続性含めて担当すること

お子さまの進学や仕事など先々のライフプラン、
先の物価や交通網自動化などデジタル社会の動向、
長い視点でアドバイスしていきます

感謝と敬意をもって 「人の資格」で担当すること

感謝と敬意、「人の資格」である自覚を強く持って、
ご家族だけでなく、地域や社会全体の発展にも
貢献していける存在として行動していきます

i am

Familiar Surface professional. have The Professional PLANT.
with the members familiar.

地域独自にデジタル化が進む世の中で 地域ごとに課題を把握し、 皆様に伴走していきます

株式会社ピーシーデポコーポレーション

代表取締役社長執行役員 **野島 隆久**

デジタル技術が急速に進化する現代社会において、企業に求められる役割は、単に利益を追求するだけでなく、社会全体の持続可能な発展に貢献することです。当社は、地域社会との共生を重視し、デジタル格差の解消や環境問題への取り組みなど、さまざまな社会課題の解決に積極的に取り組んでいます。本報告書を通じて、当社の企業理念や具体的な取り組みについて、皆様と共有できれば幸いです。

野島 隆久 PROFILE

1959年神奈川県相模原市生まれ。
1982年野島電気商会(現ノジマ)入社。1994年に独立し、ピーシーマーチャンダイズ(現ピーシーデポコーポレーション)を設立。
パソコンが一般家庭に、当たり前になる時代を見越して、PC専門店を開始。当時、小売業最速の店頭公開(旧ジャスコ市場)を果たす。時代の変化に合わせご家庭のデジタルを先読みした結果、現在は「全てのお宅にデジタル担当を」をMissionに全国に139拠点(2023年9月末現在、横浜Key Station含む)を展開中。



御用聞きのようにデジタルの 明かりを灯します

皆様の家に灯る明かり(白熱電球)を生み出したのはご存じのとおりエジソンです。ただ、その明かりをリビングやベッドルームにともしたのはエジソンではなく、地域の工務店や電気屋さん、金物屋さんといった御用聞きの方ではないでしょうか？

1642年、パスカルが発明したコンピューター発展の基となる歯車式計算器は、いまスマートフォンという手のひらに収まるコンピューターにまで進化、AI(ChatGPTなど)も登場し、仕事に、学習に、普及が進んでいます。しかし、コンピューターやインターネット、AIは電球のようにご家庭の暮らしに普及したと言えるでしょうか？街では、あれこれとデジタル化が進んでいます、ほんとうに、楽しく、安全で、安心な暮らしができていますでしょうか？私たちは今、会員の皆様の暮らしを明るくするため、デジタルの明かりを灯す御用聞きを目指しています。その役割を担うのがデジタルライフプランナー®(以下、DLP)です。また会員制度を地域に根差した次世代型の「スマートライフメンバーズクラブ」へと進化させ、皆様に移行をお願いしています。

PCデポがなぜこのような体制へと移行するのか、皆様にとってはどのような変化が訪れるのか、ご説明します。

デジタル化は暮らしの質にも 格差を生みます

デジタル化の課題:

まずは、社会のデジタル化が進むことで生まれている課題についてお話しします。よく耳にする「デジタル格差」という言葉。一般的には、「インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者とできない者の間に生じる格差」(総務省「情報通信白書」)を指しますが、私はそれだけではないと考えます。いまや日常生活において、何かを予約するにも物を購入し支払うにも、さらには交通機関という社会インフラを利用する時ですらデジタルを操作する必要があります。特に日本では、支払いの際に、どの決済ツールを使うのか、ポイントの利用可否や還元率の違いなども考慮して、選択しなければなりません。デジタル機器を使える使えないだけでなく、日々の暮らしの質にも格差が広がろうとしています。生活者の暮らしがこんなに複雑なデジタル国家があるのでしょうか？私たち日本人のデジタル格差を統計することは難しいですが、先進国において群を抜いて広がっているのではないかと感じます。

お住まいの地域でも同様の課題があります。地方自治体では、少子高齢化、労働人口減少といった社会課題を解決するため、デジタル化を含めたさまざまな取り組みを進めています。地域通貨や地域デジタルインフラの開発などもその一例ですが、企業が新たなツールやサービスを登場させれば、結局、選択肢が乱立し、



地域に根ざした自治会のような スマートライフメンバーズクラブで、 より豊かなくらしを広げていきましょう

どのツールを利用するかによってくらしの質に差が生まれることになります。地域ではいわば好き勝手にデジタル化が進んでおり※1、くらしの質の格差を解消するには地域に根差した適応が必要となっているのです。

また私たちの生活において、日常でのイベントやささやかな催しに気軽に参加できることもとても大切です。例えば、花火大会の観覧予約がいままでと異なり、オンラインでしかできなくなったとしても、DLPにご相談いただければ、毎年やってくる夏の豊かなくらしが止まることはありません。

いまやデジタル機器の販売やサービスを通じ、皆様の生活を支えることが私たちの使命です。全国139か所の店舗を中心に、地域に根差したDLPがくらしのデジタル化に伴走します。また、「スマートライフメンバーズクラブ」をコミュニティと位置づけ、皆様と一緒に地域に貢献し、運営していく形へと進化させました。PCデポは、全国一律ではなく地域ごとにデジタル課題を把握し、あなたとご家族のくらしを支援していきます。

※1 2024年11月、熊本県では交通運賃の支払いについて、各種交通系ICの利用を廃止し、クレジットカードなどのタッチ決済のみ可能としました。県民や国内外の旅行者といったすべての人にとって利便性のある決済方法を広げていくため、選択肢をあえて絞るという決断をしました。熊本県民にとっては、タッチ決済できるクレジットカードなどの保有が必須となりましたが、こうした情報をDLPは迅速に入手し、個々の会員の皆様に対応策のご提案をしています。

デジタルライフプランナー®の役割：

DLPは、職業資格として資格化を完了し、PCデポのスタッフのうち、577人が有資格者となりました。生活するなか生まれるさまざまなデジタルの悩み事や疑問を解決できる実務的なスキルだけでなく、職業人として不可欠な構えや教養に至るまで再教育を行い、修了したことになります。これからは、地域の情報収集や適した対応策を学び続けながら会員ご家族を担当していきます。進化し続けるデジタル社会においては、こうすべきという1つの答え＝最適解を見出すことはできません。地域生活においてもさまざまなデジタルが現れ、DLPは、担当地域のデジタル化について学び、皆様とコミュニケーションをとりながら、良いと思われる方向へ少しずつ、ゆっくりと皆様が歩みを進められるよう伴走していきます。

スマートライフメンバーズクラブで

目指す会員皆様との関係：

新たに設立した「スマートライフメンバーズクラブ」は、町内会や自治会のような存在を目指しています。地域として自立した「自治」を実現していくコミュニティです。会を構成する会員ご家族と地域のDLP(PCデポ)が一緒になって、デジタルを用いてくらしを豊かにしていく会員制倶楽部として、会則には運営の方針やクラブの使命、目的を記しました。

先ほどお話したように日本の複雑なデジタル化は地域単位で好き勝手に進んでいるため、生活者は追いついていけません。本社単位ではなく地域に根差した事業活動が必要で、これからも社会に貢献する形で、私たちと会員ご家族との共創で、より豊かなくらしを実現する必要があると思っています。今後は、サービスを提供する私たちとそれを受ける皆様、という関係だけではなく、地域に根差し貢献したい人たちとくらしの課題と一緒に向き合っていく関係を築いていきたいと思ひます。現在、皆様をお願いしているDLP普及もその一環となります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

〈スマートライフメンバーズクラブ 会則より〉

クラブ基本理念

当クラブの運営は、次の理念に基づくものとする。

- 1.当クラブは社会の為にある
- 2.各々の成長がクラブの成長
- 3.当クラブの普及で社会に貢献する

クラブの使命と目的

- 1.当クラブは、理念に基づき、時代とともに変化し、人と人との倶楽部として貢献することを使命とする。
- 2.当クラブは、前項に規定する使命に照らし、関係人口を増やし貢献し続けることを目的とする。

デジタルライフプランナー®認定授与式にて



人を介した価値の提供に力を入れ、 人材の普及教育をすすめていきます

PCデポは、店舗などの施設やサービス、それを実現する仕組みなど、すべて社員が会員の皆様と向き合っでご提供することを基本にしています。すでにこの方針で事業を行っていますが、今般、グループ方針に則り「人を介して」をグループ方針に決めました。人を介した価値のご提供が当社のビジネスの中心となります。

最近では、AIやロボットは人の代替になる、もしくはそれ以上のものを提供するとされています。では、人を介して提供するものの価値はなくなってしまうかと言えば、そうではありません。私は、AIやロボットとは異次元の「ひと」として存在し続けると思っています。“AIやロボットが提供する価値”と“人が介して提供する価値”は同じ秤の上にあり、PCデポは、人を介してくらしに役立つ、人にサービスを直接届けることを行っています。現在、Face to Face、Voice to Voiceに磨きをかけ、その価値を生み出していくため人材育成に力を入れています。

資格の確立とDLP普及：

DLPは資格として確立することができましたが、私たちは履歴書に記載したい資格として作ったわけではありません。あくまでくらしのデジタル化に伴走する人材が必要だと考えたからです。くらしを豊かにするため、仮説を立て、実行、検証し、修正を加え、さらに実



各地域に情報誌『メンバーズ』を発行

1 | 地域創生学の体系化

デジタル化の課題を地域単位で考えることが必須となったいま、PCデポに求められているのは、地域創生、地域経済、地域活性化について横断的に学び、研究、実践することです。いまある領域にはあてはまらないこの学問を「地域創生学」のひとつとして体系化することを構想していて、将来DLPは地域創生学に基づいた活動を行い、成果の検証もしていきたいと考えています。2024年4月から放送を開始したラジオ番組「未来教室」では、私がパーソナリティをつとめ、DLPとともに、会員皆様のくらしがどうなるのかを主軸にいまを分析し、未来と一緒にみえています。2年後、3年後に起こることは、すでに予兆があり、いまをみれば未来は予測できるはず。こうした視点を持ってDLPは、地域創生学という学問を机上ではなく、実践で学び実行していく存在になって欲しいと考えています。

31期生(2024年度)入社式



行していく、DLPには、このサイクルで地域の皆様の伴走者となることを期待しています。ただ現状、DLPの数は、不足しているため、資格の認知向上や取得推進に向け、会員皆様にご協力をお願いしているところです。DLPと身近に接し、すでにその役割や実践を理解している会員の皆様からDLPを募り、資格という伝承性のあるものを再現性高く実践し、私たちと一緒に豊かな暮らしに伴走する人になっていただきたいのです。

DLP普及に向けた環境：

DLP普及にはDLPを育成し、必要な知識と経験を積む機会や環境、いわば長い時間をかけて熟成された質の“良いぬか床(に例えていますが、そういう人間性を熟成させる、良い土壌のことを指しています)”が欠かせません。会員の皆様にはすでに、デジタルライフプランナー®がいる生活を送るアーリーアダプター(新商品・サービスといった新しいものを早期に受け入れ、他の人々に評価を広める層)としてDLP普及の役割を担ってくださっている方々もいます。こうした会員の皆様の存在と会員施設としての店舗環境、DLP同士の切磋琢磨が相まって良いぬか床となります。そうした兆しが見えてきている地域もあり、引き続きDLPを育み、存在を普及していただくことを期待しています。美味しいぬか漬(DLP)をつくるには、良いぬか床があってこそ、皆様の力添えに感謝しています。

DLPが主体的に企画し発行している地域ごとの情報誌「Members」も良いぬか床の要素のひとつになりつ

つあります。長野エリアから始まった「Members」が、盛岡、所沢、成田・富里、湘南、九州など、10の地域において発行されています(2024年12月現在)。会員の皆様とDLPがコミュニケーションを図り、双方からの情報を定期的に発信する地域密着の冊子となっています。DLPは、会員の方々からの大きな支えやコミュニケーションによって学ぶことが多く、DLPとしても人としても成長できる場となっています。

会社としては、DLPが育つための施設整備も力を入れており、それが、DLPの資格取得に必要な学びや実習を行う「SMARTLIFE AO校」です。2024年7月に盛岡市(岩手県)と越谷市(埼玉県)に開校し、2026年中には全国20都府県に設置する予定です。ここでは、資格取得とともに地域での活動に必要な知識や心得など「人の資格」も学ぶことができる、実習的な施設になっています。

独自の基準でデジタル生活の安全のガイドラインを設けています

PCデボでは、ご家庭のデジタル生活の安全を守るため「デジタル生活 安全のしおり」を発行しています。そこに書かれている内容は「インターネットの安全・安心ガイドブック」(制作著作：内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター)を参考にするとともに、これまで40万人の会員の皆様に商品・サービスを提供してきた当社が、その経験値から時代に合わせて設定してきた

DLPのいるくらしが街の常識になるように 地域ごとの店舗の充実と DLP普及を進めてまいります

安全基準を採用しています。このスマートライフメンバーズクラブ専用の独自安全基準については、教育を受けたDLPが皆様に安全の普及をしているだけでなく、地域ごとに開催している「デジタル生活安全講習」への参加もお願いしています。最近では、SNSを使った詐欺事件も多発しています。皆様にはDLPというデジタル担当がおりますので、些細なこともご相談いただけますが、講習会を通じて、ご自身・ご家族のデジタル環境について安全確保をお願いいたします。

また、2024年3月には、「デジタル生活 安全のしおり」を改訂し、AI時代の学びについて世代ごとに安全基準を記していますので、どうぞご活用ください。デジタルの安全については、今後も一方向的な動画配信などではなく、DLPやリアルな講習会、ラジオ番組などを通じて、皆様にお伝えしていきます。

応援したいと思っていただくためのガバナンスを実行していきます

PCデボが非上場化し1年以上がたちましたが、上場企業であったときと同等の情報開示、組織の管理・運営などの統治(ガバナンス)を行っています。近年、上場企業で現場の不正行為や不適切事案などが見受けられますが、PCデボでは、各地域拠点・店舗が、事業目的に基づいた売上・利益の創出を実行できる体制をつくり、会員の皆様からの厳しいチェックも受けています。皆様のいる地域が主役のPCデボだからこそ、現場

単位の組織統治をしっかりと行っていきます。当然、PCデボグループ全体としても、皆様に支持される経営を行ってまいります。本来、株式会社の株式は、株主がその会社を応援する証しです。PCデボでは、定款に沿った経営と事業内容を正しく反映する会計仕訳を実行し、応援したいと思われる企業であり続ける努力をしています。私はPCデボの創業者であり株主ですが、会社は社会の一部、つまり公器だと考えています。近い将来、皆様に当社またはDLPを応援していただけるよう会員持株会(仮)も計画しています。PCデボを公器として運営していくため、外部の目である社外取締役も含め、経営の根幹を理解した上で議論ができる役員たちによってガバナンスを効かせた経営を行っていきますので、今後もお力添えをお願いいたします。

PCデボのビジョン「デジタル化社会の格差を解消する」と会員皆様の「くらしを止めない」を実現するのに重要な役割を果たすDLP。私は、DLPのいるくらしが街の常識になると良いと思っていますし、地域の方々、スマートライフメンバーズクラブの皆様は「この街にDLPがもっと増えればいいのに」と“DLP推し”になっていただく将来まで想像しています。DLPが認知、支持され、皆様に推し活していただける未来を目指して、私たちはくらしに伴走していきます。デジタルで豊かな毎日を少しでも楽しんでください。

2 | デジタルパイロット® 構想

スマホ、PC、ドローンをはじめさまざまなデジタル機器を使いこなすDLPたちは、あたかも航空パイロットのように、ふさわしい航路を見極め、乗客(生活者)を“安全安心な豊かなくらし”という目的地に運ぶ役割を担います。そんな彼・彼女たちをデジタルパイロット®と呼び、活躍できる社会をつくり出すため環境づくりをはじめています。このデジタルパイロット®構想にもご注目ください。



野島社長自ら安全講習会での登壇



より深く、より身近に皆様のくらしと地域に伴走していける存在として

当社は、今年30周年を迎え、そして31期として、会員皆様と一体となって地域に貢献する理念共創型会員制倶楽部“スマートライフメンバーズクラブ”の運営を開始。成長に向け、新たな1年をスタートいたします。

皆様には、30年の間、辛抱強く、そして寛容的にお付き合いいただきましたこと、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。未だ恩返しはできておりませんが、皆様にとって「もう一つの我が家」となれるよう、新たな1年、そして次の30年の成長に向けて、クラブ設備や会員制度など、整備を順次進めて参ります。

2024 SUMMER

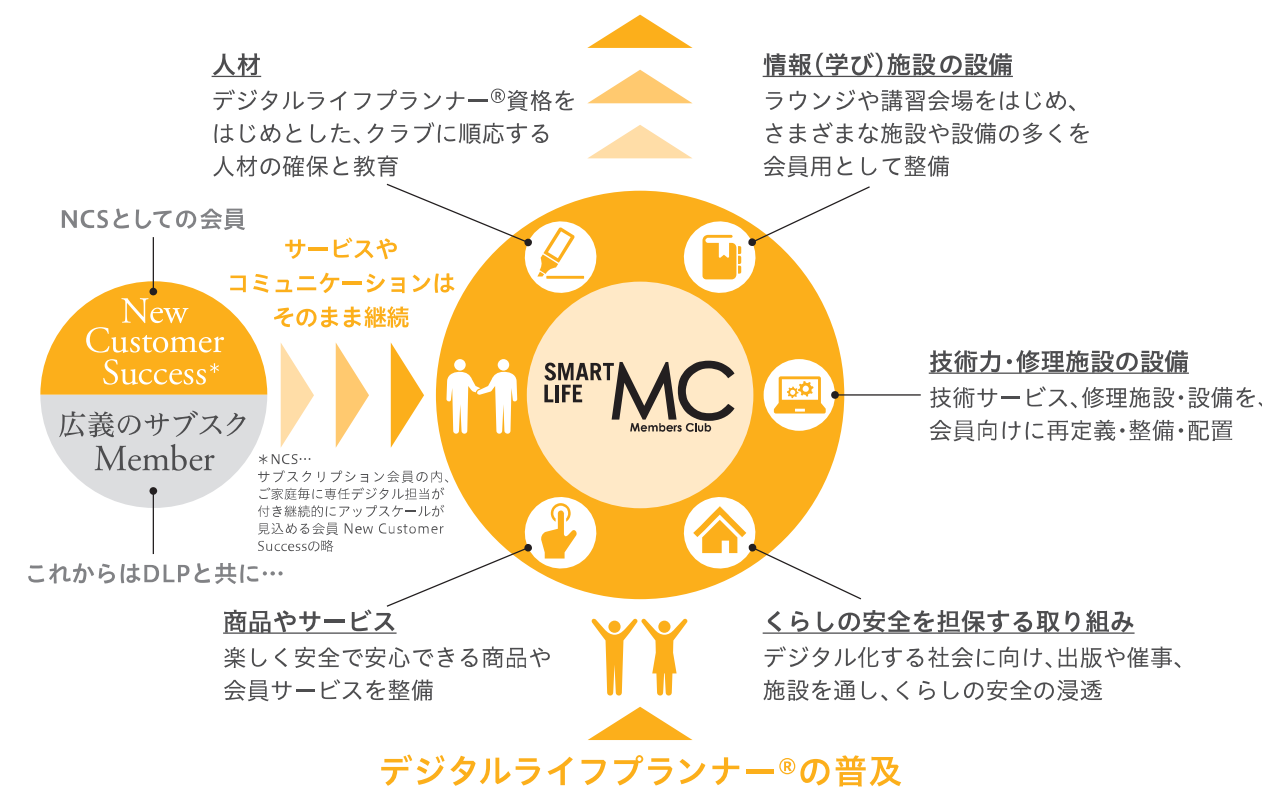
PREMIUM Member

SMART
LIFE MC
Members Club

スマートライフメンバーズクラブ

40万人の会員をデジタル社会初の理念共創型会員倶楽部への移行

デジタルライフプランナー®のいるくらしの普及



SMART
LIFE MC
Members Club

スマートライフメンバーズクラブの軸

Club Vision

デジタル化する社会における格差を解消する

信頼・つながりを通し デジタルを用いて関係する皆さまのくらしを豊かに

Club Mission

全てのお宅にデジタル担当を

ご家族に関わる全ての方のくらしに安心と豊かさを

Purpose

当クラブの普及継続で社会に貢献する

Club Action

デジタルライフプランナー®がいるくらしの普及
デジタルライフプランナー®の普及



スマートライフメンバーズクラブ資産概要(展望)

01

一軒一軒
Face to Faceでつながった
家族会員数

約**40**万軒[※]

※2024年3月時点

SMART
LIFE **MC**
Members Club



会員のご家族を
担当(伴走)する
デジタルライフプランナー[®]

約**1,000**名[※]

※2024年3月時点



会員様向け
全国ネットワーク
地域施設・店舗

139拠点[※]

※2024年3月時点

03



02

学びの拠点
SMARTLIFE AO校

2026年度までに

20

都道府県
に設置予定

SMARTLIFE
AO校
盛岡実習室



07

会員様が集う
学ぶ意欲を
育む場所
(コミュニティ)



10

離れたお宅
ご家族・ご友人適用
クラブ独自の
安全基準保有

スマートライフメンバーズクラブの
あらゆる資産は
「安全基準」が
ベースとなって
います



11

会員様の
くらしを支える
知的財産

特許 **4**件[※]

商標 **50**件[※]

※2024年12月末時点



近所の御用聞きのように「くらしに明かりを灯す」～スマートライフメンバーズクラブでは12の主要資産を価値に変えています。

04

会員様向け
ラウンジ
全国に

201拠点[※]

※2024年3月時点



05

店舗・営業所
修理窓口

138拠点[※]

※2024年3月時点

06

会員総合施設
横濱Key Station



日本全国の会員皆様の施設

08

地域との
コミュニケーション
(クラブの地域ネットワーク)
長野スマートライフ

関係人口拡大への
モデルケースに



09

会員様向け情報誌

100万部

以上/年発行

会員様向けラジオ放送

約**100**本



12

会員様用
安全基準型商品群



Leverage your assets

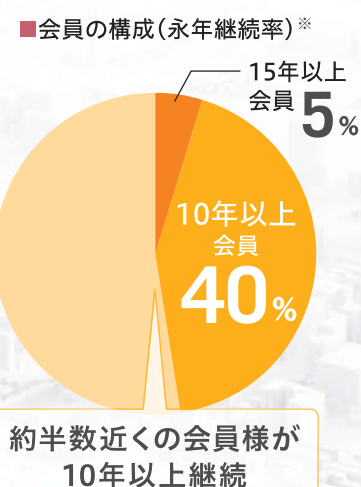
※2024年3月時点

01 スマートライフメンバーズクラブ登録の会員ご家族様

一軒一軒Face to Faceで
つながったNCS会員家族軒数

約**12**万軒[※]

スマートライフメンバーズクラブは、社会的存在意義を持った会員制倶楽部として40万世帯の会員様とその家族の暮らしに寄り添い、デジタルを用いて暮らしを豊かにする活動を行います。「地域創生」「地域貢献」「地域活性」のため、デジタルライフプランナー[®]がいる暮らし、デジタルライフプランナー[®]の普及に取り組んでいます。会員様と一緒に、デジタル化する社会における年齢・性別・所得・教育・居住地域等により発生する格差に対し、人と人の倶楽部として貢献する取り組みを総合的に進める理念共創型倶楽部です。



会員ご家族様の暮らしを止めない～それらを支えるデジタルライフプランナー[®]



AO校全国20都府県(予定)

理念(その思い)を
ひとつに描く
デジタルライフ
プランナー[®]

その人材を
支える資産



知財として守られる
教材・学習方法・コンテンツ



世界標準に基づいた職業資格



信頼情報で築く資産

※2024年3月時点

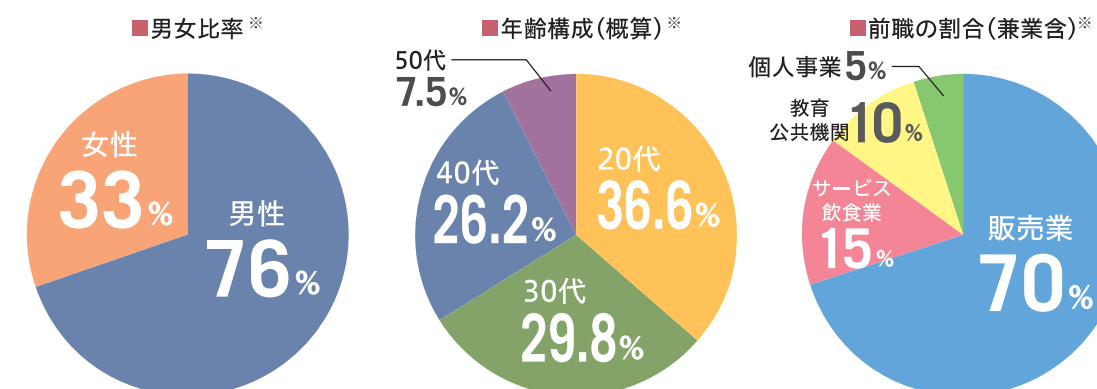
02 ご家族に伴走する資格～デジタルライフプランナー[®]

会員ご家族を担当(伴走)する
デジタルライフプランナー[®]の人数

約**1,000**名[※]

デジタルライフプランナー[®]とは、地域社会の未来を見据え、デジタル化が進む現代社会において、個々の家庭や個人に対し、一家団欒と豊かな生活を送るために伴走していく新しい職業を担う人です。デジタルライフプランナー[®]が地域の各家庭に普及し、多様な背景を持つ人々がこの役割を担うことで、街に暮らす人々がデジタル化の恩恵を享受しやすくなると期待されています。これにより、未来のお茶の間が楽しい作品のようにデザインされ、より良い地域社会の形成に貢献することを目指しています。

多種多様なデジタルライフプランナー[®]～ダイバーシティバックグラウンド



何の、誰の、どんな未来の、どんな自分らしさのため…**自立自走の明確なビジョン**があれば
誰でもチャレンジできるのがデジタルライフプランナー[®]という職業資格

デジタルライフプランナー[®] 資格制度のスタート

DLP職業資格に必要とされる主なスキル

学ぶ上で必要とされる主なソフトスキル

コミュニケーション能力 / リーダーシップ力
課題解決力 / 論理的思考力 / マネジメント力 / etc

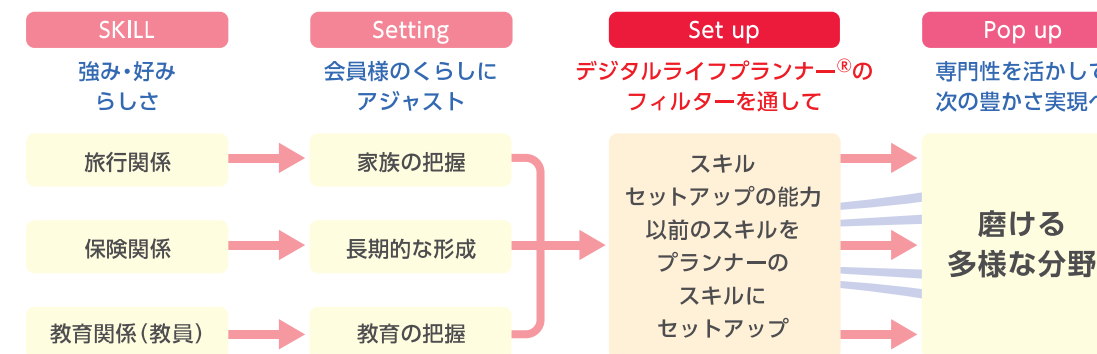
学ぶ上で必要とされる主なハードスキル

各デバイスやITスキル / データやリスク分析
情報収集 / マーケティング知識 / 語学力 / 本資格 / etc

パーソナリティスキル

人柄はもちろん、キャリアアップ&転職の方は、**前職での経験・知識のセットアップがより強みに**つながります

バックグラウンドで活かせる対人スキルの一例



※2024年3月時点

03 スマートライフメンバーズクラブ向け全国ネットワーク

地域施設・店舗 139 拠点

日本各地に139の会員制クラブ施設を構え、会員制クラブ施設をご用意しております。各施設は、いつものプランナー、いつもの拠点をご利用いただくことはもちろん、各地の拠点をご利用いただくことが可能です。会員様の「サードプレイス」を目指しています。



05 店舗・営業所 修理窓口 138 拠点



地域のデジタル病院

- トラブルシューティング
- エンジニアリング
- 修理設備
- PC98～AI搭載PCまで
- ガラケー～iPhone最新機種まで
- 技術メニュー1,000以上 etc



Clubくらしのデジタル窓口

地域の会員さまのデジタルの窓口として各拠点にご用意しております。いつもの担当プランナーが「くらし」と「デジタル」をご案内します。



学びの空間-学びのパソコンクリニック

会員様ご自身でパソコンを分解したり、SSDと呼ばれるパソコンの記憶装置やメモリという部品を取り付けたり、パソコンの仕組みや構造が自由に学べます。



安全講習会場

くらしの中で必須になりつつあるデジタル。デジタルとの安全な付き合い方について楽しくわかりやすくお伝えする安全講習を行う施設です。講習は毎月行われ、ワークショップで楽しく学べます。

サブスク型新業態の展開



川越 Club Lounge

会員様とプランナーの対話の場所として地域に密着した「Club Lounge」(展示商品を厳選した、小規模な施設)やテラス席などの会員様が自由に過ごすことができる施設を用意した「CLUB HOUSE」などを展開。



所沢 CLUB HOUSE

04 会員様用ラウンジ 全国に 201 拠点

※2024年3月時点

会員様とプランナーが今後のくらしを、より豊かにするためのディスカッションをする場所。会員様は自由にご利用いただけます。Wi-Fiや充電設備完備。フリードリンクをご用意している拠点もあります。



Wi-Fi



USB充電



お飲物



TOHOKU 10

KANTO 148

KYUSHU 6

SHIKOKU 3

KINKI 4



06

スマートライフメンバーズクラブ総合会員施設

“うきうき”“わくわく”な未来を共に創る 横濱Key Station

日本全国の会員ご家族様とデジタルライフプランナー®が集う場所

全ての会員様が利用できる施設として、Key Stationがあります。現在は本社がある横浜市西区に「横濱Key Station」として併設しています。大規模な催し物を行うことができる大ホール「ヒト×コトマルシェ」、思考の拡大を手助けする学びの施設「library」などがあります。2024年夏には、くらしを豊かにするツールとしてご準備している会員権付商品を体験できる「showroom」が開設され、会員様やプランナーが実際に会員権付商品を手に取り、体験いただくことができます。



スタジオ



ファミリーサービスセンター

オフィススペース

編集室

社長室

編集室

SMARTLIFE Members Clubの各種媒体やポスターなどを編集するための開かれた編集室です。編集に携わるスタッフはここで作品を制作します。

スタジオ

受付

ワーキングスペース

オフィススペース

ラウンジ
会員様同士の語らいや会員様とDLPとが、ゆったり和やかに相談し合う憩いのスペースです。

受付を抜けると、お出迎えのメッセージ！

会員制を支える バックグラウンド※

メンバーズクラブ所属
エンジニアリング要員: **170名**

メンバーズクラブ所属
コールセンター要員: **40名**

メンバーズクラブ所属
会計担当: **30名**



Supporting
Yokohama
Key Station!



オフィススペース

ワーキングスペース



ファミリーサービスセンター

会員様と各拠点のプランナーの橋渡しをしています。会員皆様のくらしを止めないをモットーに、デジタルライフの満喫に一役かっています。



オフィススペース

※2024年3月時点

07 時代を見据え、学ぶ意欲を育む場所(環境)創り

2030年のあるべき姿へ～多くの会員様とともに創る学びの場(学校)

デジタル系資格で世界初となる「生活者のための資格」であるデジタルライフプランナー®。

それは、新たな地域貢献としての職業でもあります。そこで、その「学びの環境」を、多くの会員様の声を聞きながら、実証実験や検証を重ね、当社と会員の皆様とが協業しながら、手づくりの資産(スマートライフメンバーズクラブの資産:学校兼コミュニティ)として創り上げました。



学ばれる方の自立自走への
体制と環境づくり



会員皆様と一緒に創った
手づくりの資産として



2024年、学ぶ意欲を育む学校「SMARTLIFE AO校」がスタート

それぞれの思いに合わせ、多様な受講者が学ぶ空間

SMARTLIFE AO校は、多様な経歴を持つ資格者たちと共に、ダイバーシティが尊重された場所。デジタルライフプランナー®への資格取得はもちろん、就職・転職活動や自身のスキルアップ、独立(起業)から親子受験まで、幅広い目的を視野に、学びを提供していきます。



女性	転職・リスクリング 主婦・シングルマザー	就職	転職・リスクリング 新卒・インターン	親子 受講	男女12歳～ 親子・親戚	資格	在職・リスクリング (シニア) スキル・アサイン
-----------	-------------------------	-----------	-----------------------	------------------	-----------------	-----------	--------------------------------

そして、スマートライフメンバーズクラブのAO校が目指すもの

SMARTLIFE AO校は、人材(DLP)の創出とともに、地域貢献(学びやコミュニティ)を視野に、運営していきます。

人材創出	地元貢献	I・U・Jターン
学び方の講義	地元の活性化	文化継承

世界唯一の資格として～SMARTLIFE AO校 開校

学びの拠点
SMARTLIFE AO校

2026年度
までに

20 都道府県
に設置予定

デジタル化社会で共通の倫理、道德観を持った関係人口の拡張と地域に「デジタルライフプランナー®がいる暮らし」と「デジタルライフプランナー®の普及」を目指して。それらを支える環境(学びとコミュニティの場)を全国の拠点で展開していきます。

SMARTLIFE AO校

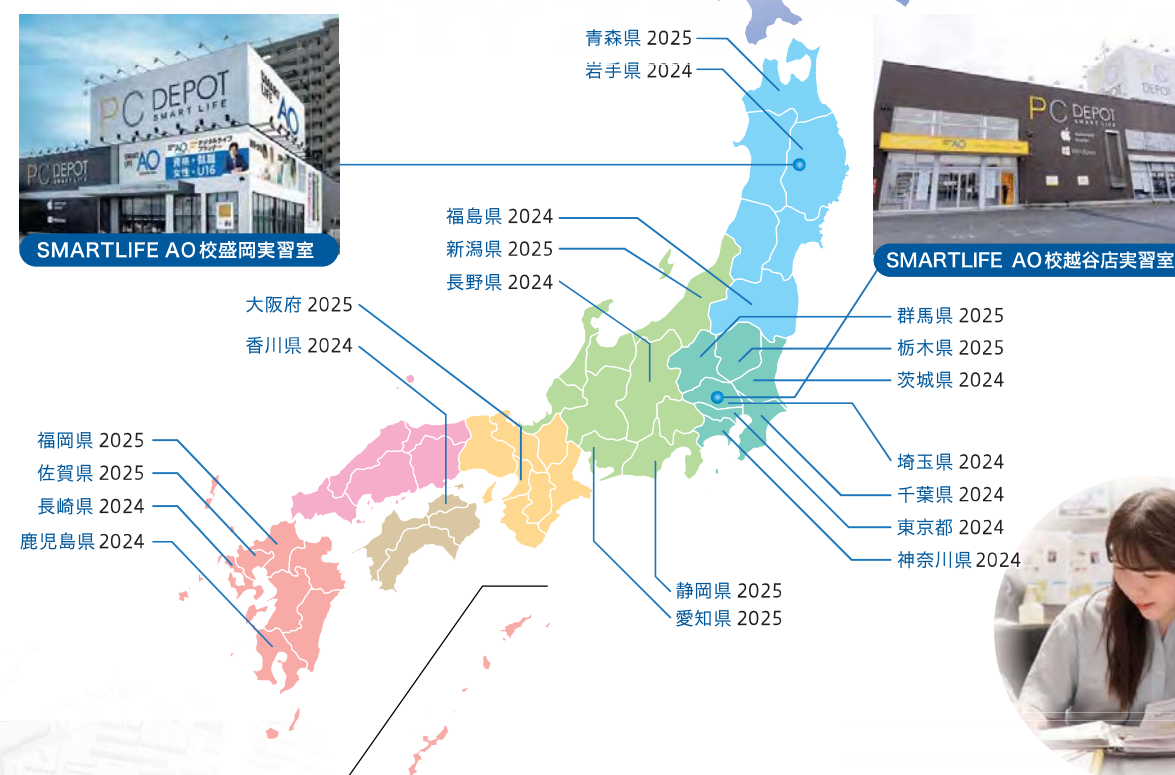
※画像はイメージです



世界標準に基づいた資格制度と育成校の普及

全国にいるデジタルライフプランナー®資格取得希望者に向け、2026年度中までに20都道府県にSMARTLIFE AO校を順次開校していく予定です。資格受講者は、その地域やAO校毎の特徴、デジタルライフプランナー®講師により、学ぶ拠点とするAO校を選ぶことができます。

全国にデジタルライフプランナー®を育む「SMARTLIFE AO校」開校予定



08

地域のネットワーク(長野モデル)

スマートライフメンバーズクラブコンテンツと接点の拡大

「デジタルを用いて長野の暮らしを豊かに」を目指し、長野市稲里町にデジタルライフプランナー®と会員専用施設をご用意しています。長野県内には、この長野BASEのほかにパソコンクリニック上田、パソコンクリニック松本宮田、パソコンクリニック長野の計4拠点があります。人材の採用、育成・排出、各拠点間との人材交流など、長野全域をカバーしています。

施設におけるコンテンツの充実(長野BASEの場合)



※2024年9月末時点

長野エリアにおける関係資本のDATA

メンバーズクラブ 長野エリア所属 デジタルライフプランナー 22名		メンバーズクラブ 長野エリア所属 ラウンド型プランナー 14名 7台	
暮らしのデジタル FamilyClinic 4拠点	暮らしのデジタル窓口 77市区町村	可動式 作業台 118台	コンピューター 最大同時作業数 67台
暮らしのデジタル窓口 安全講習実施数 年24回	Club Lounge(ラウンジ) 84席	AO長野校 (AO講師数) 6名	コンシェルジュ デスク 4席
写真館 写真倶楽部実施数 年12回	eスポーツスタジオ 最新eスポーツコンピューター 9台	友の会 会場 イベント開催数 年84回	写真館 写真倶楽部実施数 年12回
SHOWROOM 展示商品数 200品	TEST DRIVE TEST DRIVE 可能品数 200品	写真館 写真倶楽部実施数 年12回	eスポーツスタジオ 最新eスポーツコンピューター 9台
Media Station 地域情報誌「SLMC メンバーズ」 発行部数 年18,000部	メンバーズ広場 地域活性化協力会社数 64社	VisionAmbassador PersonRoom Ambassador会員 300人	パソコン工場/D.I.Y. 組立コンピューター マイスター人数 8名

地元拠点における(自分たち)の文化の構築

『各点』から『線』、そして『面』で結ぶ、地元エリアの文化圏

長野県内に4拠点をかまえ、「各拠点」から拠点間をつなぐ「線」、「面」へ変化しています。デジタルライフプランナー®がデジタルを用いて長野の暮らしを豊かにするため、「面」の発想で地域課題に取り組んでいます。



全国における拠点ネットワーク型経営スタイルの確立へ

長野BASEから生まれた「店舗(交流)」×「メディア(情報)」ミックスにおけるコミュニケーション(関係人口拡大)モデルは、好事例(参考)として、今…全国の各拠点へと広がりを見せています。

09 メンバースクラブの信頼を向上するメディア資産

会員様向け情報誌

年発行 **100万部**以上

SMART LIFE MediaStation

発行部数 **1万部**/年

ご家庭のデジタル生活の安全を守るためのガイドブック



デジタル生活 安全のしおり

直取材 × 信頼情報 × 直編集



Smart Life Catalog

発行部数 **6万部**/年

会員ご家族様専用商品及びサービス案内カタログ

発行部数 **3万部**/年

会員ご家族様専用商品イメージによるコンセプトブック



Smart Life Square

スマートライフ®メディアステーション及び

全て「安全のしおり」と同じ

SMARTLIFE JOURNAL



会員ご家族様専用の会報誌。会員ご家族様自身の声や、暮らしに役立つ様々な最新情報を定期的に発信。



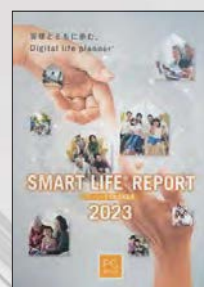
発行部数 **60万部**/年

SMARTLIFE PlannerDirectory プランナー名鑑



総勢42名のデジタルライフプランナー®が登場。次回、100名のプロフェッショナルが登場の講師名鑑を予定。発行部数 **1万部**/年

SMARTLIFE REPORT 統合報告書



ピーシーデポコーポレーションの統合報告書経営方針や業績など全ての情報を公開
発行部数 **6万部**/年

SMARTLIFE AdmissionGuide

デジタルライフプランナー®資格試験ガイドブック

発行部数 **1万部**/年



ラジオを通して、会員ご家族様に直で語る

会員様向けラジオ放送
(収録本数)

約 **100本**



など



【放送ネタからの一コマ】

お茶の間のオンラインライブ
笑う家族に福来たり

年末年始の楽しいコンサートもデジタル化が…チケット入手や表示方法もさまざまで複雑になり、ハラハラすることもありますよね。そんなときはオンラインライブを活用してみませんか？
コロナ禍でオンラインライブも主流になり、お孫さんの発表会など離れて暮らすご家族も参加できるようになりました。コンサートもお茶の間の、ご家族そろって楽しみましょう！
#コンサート #チケットがデジタル化 #お茶の間のオンラインライブ

Interfm「今さら?! デジタル」



『音と文字』で味わうラジオ

デジタルの「いまさら」な話題を軸に、デジタルと生活に関係するさまざまな時事に社長自ら切り込んでいく「今更デジタル」を皮切りに、会員様向けのラジオプログラムです。



【放送ネタからの一コマ】

汲み取る、伝える、伝わる
これは人間

新生活が始まり新しいことに挑戦したいという方も増えますよね。資格をとるのもいいですね。最近では若者から臨床心理士が人気を集めています。一方でAIがアナウンサーやカウンセラーとしてデビューしていることも。AIは性能もよくデータの蓄積量も人間の能力を超えています。しかし汲み取る、伝える、伝わる、これらは人間にしかできません。これからの時代はAIを使いこなし、さらに人間力を鍛える二つの能力が大切です！(笑)顔のように人ならではの温かさ、人ならではの性能を磨いていきましょう！ #AI #人ならではの

スマートライフ®メンバーズクラブが有する著作物・教材・放送(情報)は、

安全基準で制作されています

メンバーズクラブ独自の安全基準を保有しています

SMARTLIFE Members 地域情報誌



地域に根差した、地域ごとのデジタル情報誌。お住まいの地域ならではの身近な情報が満載。



鹿児島
メンバーズ

長野
メンバーズ

一宮
メンバーズ
(愛知)

新潟
メンバーズ

富士
メンバーズ
(静岡)

湘南
メンバーズ
(神奈川)

盛岡
八戸・福島
メンバーズ
(東北)

所沢
川越・狭山
メンバーズ
(埼玉)

成田・富里
メンバーズ
(千葉)

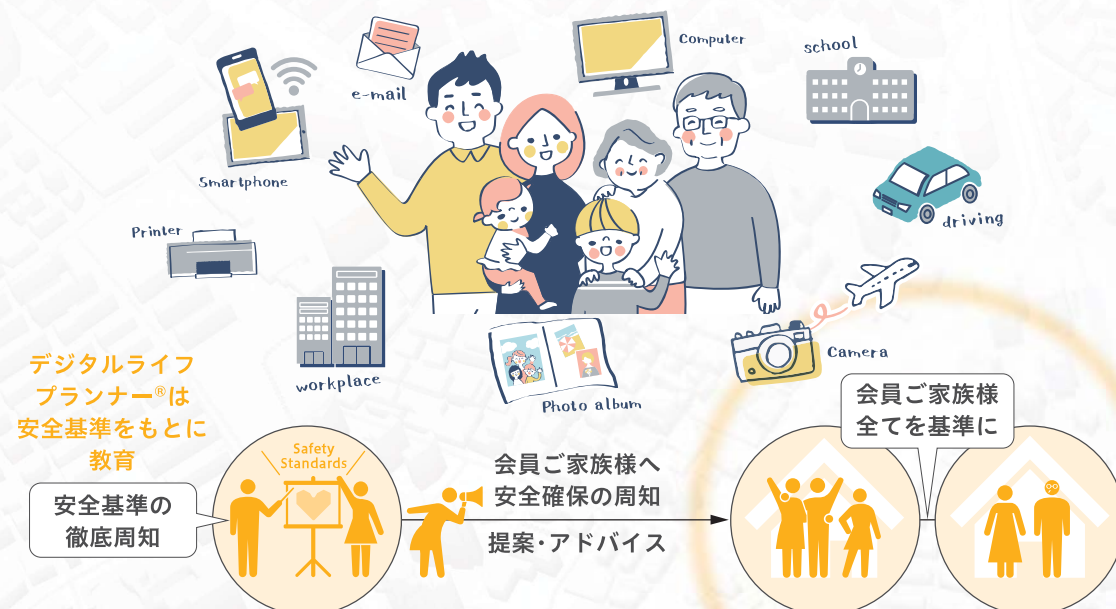


日本各地、
続々発刊予定!

10 多くの会員様の「困った」の声から生まれた安全基準

スマートライフメンバーズクラブ独自の 安全基準を保有

2018年
8月15日
Start



スマートライフメンバーズクラブは独自の安全基準を保有しています。デジタルライフプランナー®が40万軒の会員様とのつながりからヒントを得て生み出した「デジタル生活 安全のしおり」はこの安全基準の基礎となる実例が掲載されています。「自分にも当てはまる!」とハッとする事例が、会員様自身の「自らの暮らしを止めない」ための、前もってお互い様、の行動につながっています。

会員ご家族40万軒の「暮らしを止めない」

すべてのデジタルライフプランナー®は
安全基準をもとに教育を受けています

スマートライフメンバーズクラブにおける

- 全ての人材は信頼できる情報のみを用いた安全基準で学習しています
- 全ての出版物は安全基準に基づいています
- 全ての放送は安全基準に基づいています

スマートライフメンバーズクラブが
蓄積する安全方針は全て定められた基準を用いています

スマートライフメンバーズクラブの
あらゆる資産(人材、施設、出版、商品等)は
すべて同一の「安全基準」に基づいてつくられております。



メンバーズクラブのあらゆる資産は「安全基準」がベース

会員の離れたご家族全てを含めて考え 同じ安全基準を適応



くらしのデジタル 安全講習(リアル配信)

くらしのデジタル安全講習は、全国の拠点で定期的に開催されている大切な講習です。会員様は年に1回以上の受講をお願いしています。年に数回行われるさまざまな講習やイベントがある「フェス期間」には、代表取締役 野島社長が講演する安全講習会も開催され、全国の拠点にリアルタイムで配信されます。



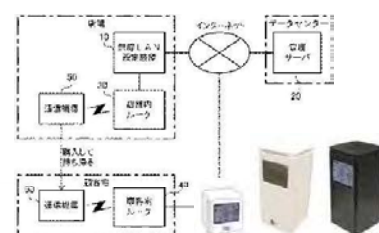
※2024年12月末時点

11 会員ご家族様のくらしを支える知的財産(特許・商標)

特許取得 **4** 件
商標登録 **50** 件

スマートライフメンバーズクラブは、会員様のくらしを支える知的財産を多数保有しています。創業から、地域のお客様・会員様の今困っていること、これから困ること、これから先も困らないがあった方がくらしが豊かになるものを特許や商標として保有しております。例えば、皆様のご自宅に設置されているルーターも実は特許技術を盛り込んだ当社独自仕様の機器として会員様の生活を支えます。

保有特許



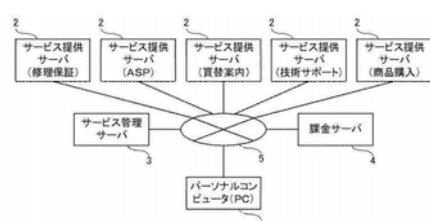
SSW

Smart & Safety Wireless

スマート設定技術 並びに
安全を確保したワイヤレス接続技術

特許第4949494号

会員専用安全設定ルーター、SSWルーターに搭載されている特許です。
新しい機器の導入時、故障時も設定が容易で、都度出張設定したりといった手間が不要。
かつセキュリティ面も安全なシステムです。



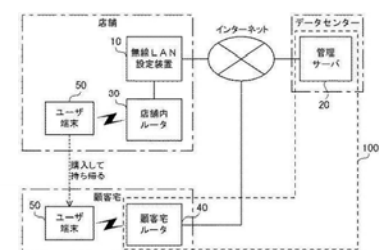
MBOS

Multi-brand Operating System

コンピューターサービス利用管理
システム及びその方法、
並びにサービス利用管理装置

特許第4845505号

従来サービスごとに利用手続きや導入、課金処理、管理が必要だった
多様なサービスを容易に提供・利用できるようにするための特許。
スマートライフメンバーズクラブおよび、20ブランドのプロバイダサービスを支えています。



o'zzio CLOUD

コンピューターサービス利用管理
システム及びその方法、
並びにサービス利用管理装置

特許第5498278号

インターネットを介して、機器に保存されているデータをユーザー毎にクラウドサーバーに
保存(バックアップ)することで何らかの故障発生時にデータが復元できるようにするとともに
第三者のなりすましによる、不正なデータ取得を防ぐための特許です。

登録商標及び著作物・制作物



Trademark

スマートライフ	登録：5695200
SmartLife	登録：6359036
デジタル担当	登録：6490888
デジタルライフプランナー®	登録：6148703
スマートライフアドバイザー	登録：5792063
スマートライフパイロット	登録：6782840
スマートライフプランナー	登録：6295835
スマートライフスタイリスト	登録：6805530
デジタルパイロット®	登録：6716259
デジタルライフコーディネーター	登録：6295834
スマートライフストアー	登録：5695198
デジタルスマートライフ	登録：5695199
デジタルライフパイロット	登録：6782839
デジ検	登録：6574518

Copyrighted Work

資格教科書
マトリックスメソッドガイド
メディアトレースメソッドガイド
SMARTLIFE Media Station Books&Radio
安全のしおり
SMARTLIFE JOURNAL
探求ボード作品
CP書簡作品
SMART LIFE REPORT
メンバーズ Local



以上は株式会社ピーシーデポコーポレーションが保有する特許、
商標および著作権を有する媒体・著作物です。

当グループはデジタル化する社会に「スマートライフ®」を提供し続けるため、上記の開発、育成、普及、浸透を進めています。

12 メンバーズクラブが有する安全基準型商品群

会員様のくらしを安全で豊かにすることを前提とし、安全基準をベースにした商品を厳選。
「会員様専用の信頼できる商品群」として提案や販売、レンタルを行っています。



- 専用商品
- 知財、ノウハウ体型
- 保険一体型
- 信頼できる製品のみ
- メンバーズクラブの安全基準に適合する商品のみ

- デジタルライフプランナー®の信頼サポート含む

Attend
伴走

Assistant
支援

Advice
助言



財務資本～安定性や収益性、効率性の維持・向上へ

PCデポ30期(2023年4月～2024年3月)の業績サマリーは以下となります。

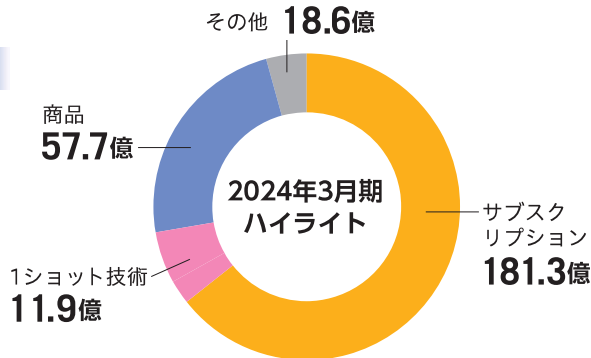
売上高(一般顧客向けの商品売上高)は事業構造を変革している過渡期でもあり、26.5億減少しています。しかし、計画より利益率が良化し売上総利益率が上昇しています。この要因として、サブスクリプション販売が増え、単発商品販売が減少したことが寄与しています。

また販売費および一般管理費として、デジタルライフプランナー[®]資格及びAO校関連について、「人的資本」投資 55百万円として計上しています。一般顧客向け「商品販売広告」につきましては大幅に縮小しました。

30期(2024年3月期)サマリー

**1 計画より利益率 良化
売上総利益率上昇**
→サブスクリプション販売増
単発商品販売が減少

2 NCS会員 堅調
会員家族のくらし止まらず



項目	金額(億円)
売上高	269
営業利益	8.7
経常利益	8.5
当期純損失	△12.5

30期(2024年3月期)実績

単位:百万円	2023年 3月末	2024年 3月末	増減額
流動資産合計	22,628	20,205	△2,423
現金及び預金	6,785	4,635	△2,149
売掛金	11,777	12,216	439
たな卸資産	3,659	2,961	△698
固定資産合計	13,551	11,789	△1,762
有形固定資産	7,989	6,835	△1,154
無形固定資産	997	680	△317
投資その他の資産	4,564	4,273	△290
資産合計	36,180	32,056	△4,124
流動負債合計	6,125	5,612	△513
固定負債合計	3,463	1,191	△2,271
負債合計	9,588	6,804	△2,784
株主資本合計	26,528	25,252	△1,276
純資産合計	26,591	25,252	△1,339
負債・純資産合計	36,180	32,056	△4,1

ポイント

■現預金減少

→コロナ禍において、現金資産が増えたが、それ以前の水準に戻りつつある

・(流動)現金及び預金

短期借入金親会社借入5.8億円

長期借入金返済実施22.7億円

・(流動)棚卸資産

会員用商品専用のカタログを用いた

提案、販売へ移行7億円

・(固定)建物

取得4.1億円(CLUB HOUSE化など)

減損損失9.3億円(店舗建物、除却など)

■人的資本

・デジタルライフプランナー[®]資格及び

SMARTLIFE AO校関連

開発費61百万円計上

当期利益 減益要因

■減損損失計上

会員型企業の新業態への転換に伴い、

会員施設・設備へ移行、システムなど

14.4億円を計上

30期(2024年3月期)実績 サブスクリプション関連

サブスクリプション会員
商品一括購入
(12ヶ月実績)億円



NCS
NEW Customer Success

125億円

ARR^{※2}

サブスクリプション会員数^{※3}

ARPU^{※4}

CRR^{※6}

サブスクリプション関連
全体ARR 187.6億円

サブスクリプション関連全体

NCS^{※1}

125.1億円

12.1万人

8,567円

99.51%

187.6億円

38.3万人

4,075円

99.13%

※1 NCS:ニューカスタマーサクセス会員

※2 ARR:会員のサブスクリプションに関する年間売上

※3 サブスクリプション会員:定額サービス利用会員

(除くインターネット関連事業における会員)

※4 ARPU:1会員あたりの平均月次売上額:MRR^{※5}÷会員数

※5 MRR:会員のサブスクリプションに関する月間売上

※6 CRR:サブスクリプション会員の継続率/月次

30期(2024年3月期)実績 サブスクリプション関連ARR全体サマリー

	2023年3月期期末		2024年3月期1Q		2024年3月期2Q		2024年3月期3Q		2024年3月期4Q		今後1年程度の目標 サブスクリプション 関連全体	
	サブスクリプション関連全体											
	NCS※1		NCS※1		NCS※1		NCS※1		NCS※1		NCS※1	
ARR※2	123.5億円	192.6億円	124.0億円	191.0億円	124.2億円	189.8億円	125.2億円	188.5億円	125.1億円	187.6億円	125億円	230億円
サブスクリプション 会員数※3	12.3万人	40.8万人	12.4万人	40.1万人	12.3万人	39.6万人	12.3万人	39.0万人	12.1万人	38.3万人	15万人	44万人
ARPU※4	8,304円	3,935円	8,338円	3,961円	8,390円	3,990円	8,469円	4,023円	8,567円	4,075円	8,100円	4,000円
CRR※6	99.59%	99.15%	99.65%	99.32%	99.59%	99.36%	99.55%	99.11%	99.51%	99.13%	99.60%	99.10%

自然資本～資源の効率的運用と環境負荷軽減を意識して

PCデポは国内に139の地域施設・店舗を有しており、施設・店舗サイズは5坪～500坪と多様な形態で展開しています。ピーシーデポスマートライフ店では、体験スペース、講習会場、AO校機能、コワーキングスペースや修理窓口など、会員の皆さまが集まりやすい場となるよう整備しています。

自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)は、自然資本を「組み合わせることで人々に便益をもたらす、植物、動物、空気、水、土壌、鉱物などの再生可能および非再生可能な自然資源のストック」と定義しています。この定義に照らし合わせると、当社の事業活動は自然資本に対する大きな影響を与えていないと考えられます。しかしながら、当社のビジネスモデルは、デジタルライフプランナー[®]が直接会員の方々と接することを特徴とし、それが競争優位性となっているため、今後もリアルな地域施設・店舗は重要な役割を果たします。

気候変動の緩和への対応として、地域施設・店舗における電気使用量の低減を実施するとともに、環境配慮として、コンピューターやスマートフォン関連機器の循環利用を促進し、廃棄物の削減にも寄与します。また、地域施設・店舗の新設にあたっては、生物多様性の観点を踏まえ、空気や水、土壌に対して店舗建設や運営が大きな影響を与えないよう十分な配慮を行い、自然資本の保全に努めてまいります。



Mission 全てのお宅に デジタル担当を

社会課題

デジタル社会での
情報格差

デジタル教材における
教育格差

デジタルデバイド
による地域格差

通信をはじめとする
セキュリティの不安

AI技術の急速な進歩

人口減などによる
コミュニティ活動の
低減

将来への社会的不安

気候変動
気象災害の増加

環境問題の深刻化

世界情勢の不安

Input

価値創造の源泉

SMARTLIFE
メンバーズクラブの
資本



人的資本

- 01 家族会員 約40万軒
- 02 デジタルライフプランナー®
約1,000人



製造資本

- 03 会員向け全国ネットワーク
施設・店舗 139拠点
- 04 会員用ラウンジ 全国201拠点
- 05 修理・診断窓口 全国138拠点
- 06 総合会員施設: Key Station
SMARTLIFE AO校
- 07 20都道府県を予定
- 12 会員様用安全基準型商品群



社会・関係資本
クラブが持つネットワーク
(長野モデル)



知的資本

- 09 会員様向け情報誌
年発行 100万部以上
- 会員様向けラジオ放送 約100本
- 10 独自の安全基準保有
- 11 特許 4件、商標 50件



財務資本

財務資本、投資、売上、利益 他



自然資本

環境配慮型店舗・営業活動

Materiality

PCデボの重要課題

5つの価値提供



Social

社会との関わり方・
今後について
社会環境の変化に対する
考え方



Environment

環境、エネルギーに対する
考え方



Education

働き方、生産性、
学び方改革に対する考え方



Entertainment

楽しさ、人と人の
コミュニケーションによる
未来創造の可能性



Governance

ガバナンス・
コンプライアンス・
リスクに対する考え方

Action

メンバーズクラブ「プレミアム会員」拡大図

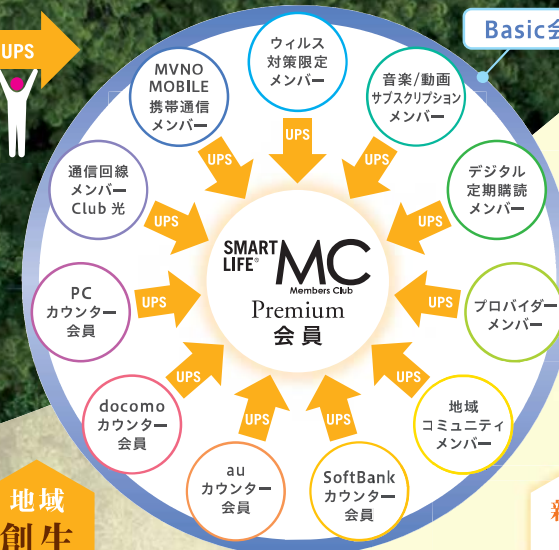
SMARTLIFE MC
Action

デジタルライフ
プランナー育成



デジタルライフ
プランナー®の普及

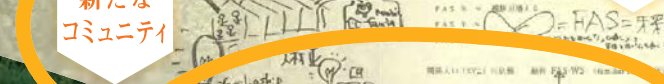
デジタルライフ
プランナー®がいる
くらしの普及



人的資本経営
(全人格経営)



新たな
コミュニティ



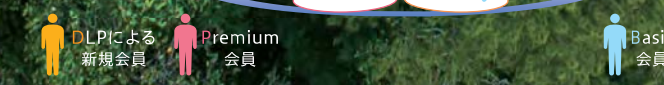
新たな
ビジネス



新たな
発想



新たな
価値



Output / Outcome

価値の創出



デジタルライフ
プランナー®が
家族の一員のように、
くらしに伴走



くらしを
止めない
デジタル生活の
安全確保

デジタルライフ
プランナー®が
社会のインフラ

地域との
エンゲージメント拡大



コミュニティ、
社会資本の拡大



関係人口の
拡大

Impact



デジタルを通してくらしを豊かに

中長期での戦略と強み

LTV(Life Time Value)を軸にして、関係人口を増幅し、

地域におけるデジタルライフプランナー®という職業普及を行っていきます。


この拡大により、今後の市場機会をとらえ、NCS (New Customer Success) 会員の拡大につなげます。

「メンバーシップ制／サブスクリプション型／循環型」



強みの強化

戦略に向けたメンバーズクラブとしての7つの取組み

- 
- SMART LIFE Members Club
1. One Purpose 経営
 2. デジタルライフプランナー® 価値向上
 3. 地域／拠点のネットワーク型経営スタイルの確立
 4. 地域／拠点の自分たちの文化の構築
 5. スマートライフメンバーズクラブコンテンツと接点拡大
 6. スマートライフメンバーズクラブ施設の充実
 7. グループシナジーの強化

エリアごとの 取組み

Strategy (戦略)

- ## 1. 関係人口の拡大 (FAS: Familiar Surface)

会員家族 貴方 会社 取引先 地域社会の皆様と目的を一体化し、デジタルを用いて、関係人口を増幅します。
- ## 2. デジタルライフプランナー®の職業普及

職業資格として「デジタルライフプランナー®資格」制度を開始。検定試験を実施しながら地域のデジタルライフプランナー®普及に努めます。
- ## 3. 人的資本への加速、積極的な投資

新卒採用、経営権者採用の強化。デジタルライフプランナー®のスキルアップ
- ## 4. 新型店舗の開発と実践

店舗にSMARTLIFE AO校を併設、会員様が集まり、何かを始める場に変化。
CLUB HOUSEの増設による会員接点の拠点を増加。
- ## 5. 幅広い業務提携による共同事業展開

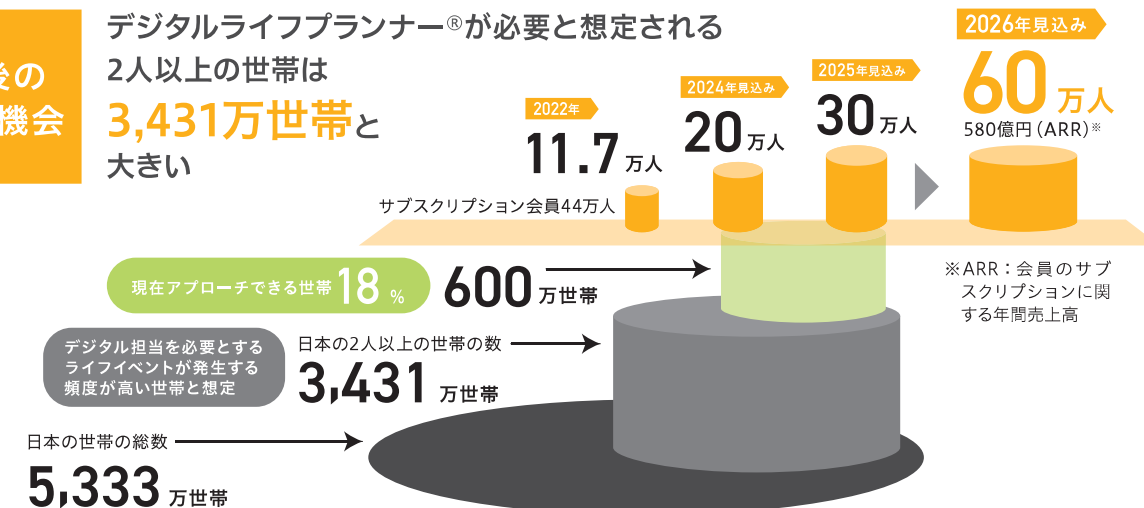
多様な業種のパートナー様と共同し、デジタルを用いて、関係人口を増幅します。

今後の
市場機会

デジタルライフプランナー®が必要と想定される
2人以上の世帯は
3,431万世帯と
大きい

2022年 **11.7** 万人

2024年 **20** 万人



拠点のネットワーク型経営スタイルの確立

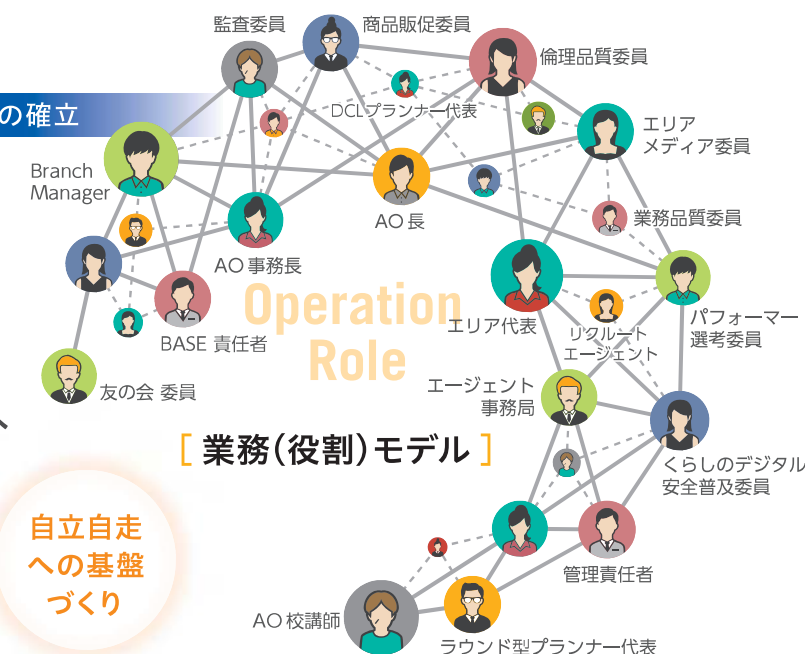
「機能」と「事業」を両立させる
新しいチームへの

挑戰

1人2役、3役…新しいチームの形へ

担当可能な業務領域を拡大
チーム体制でのノウハウ共有
協力し合う意識で個の能力を底上げ

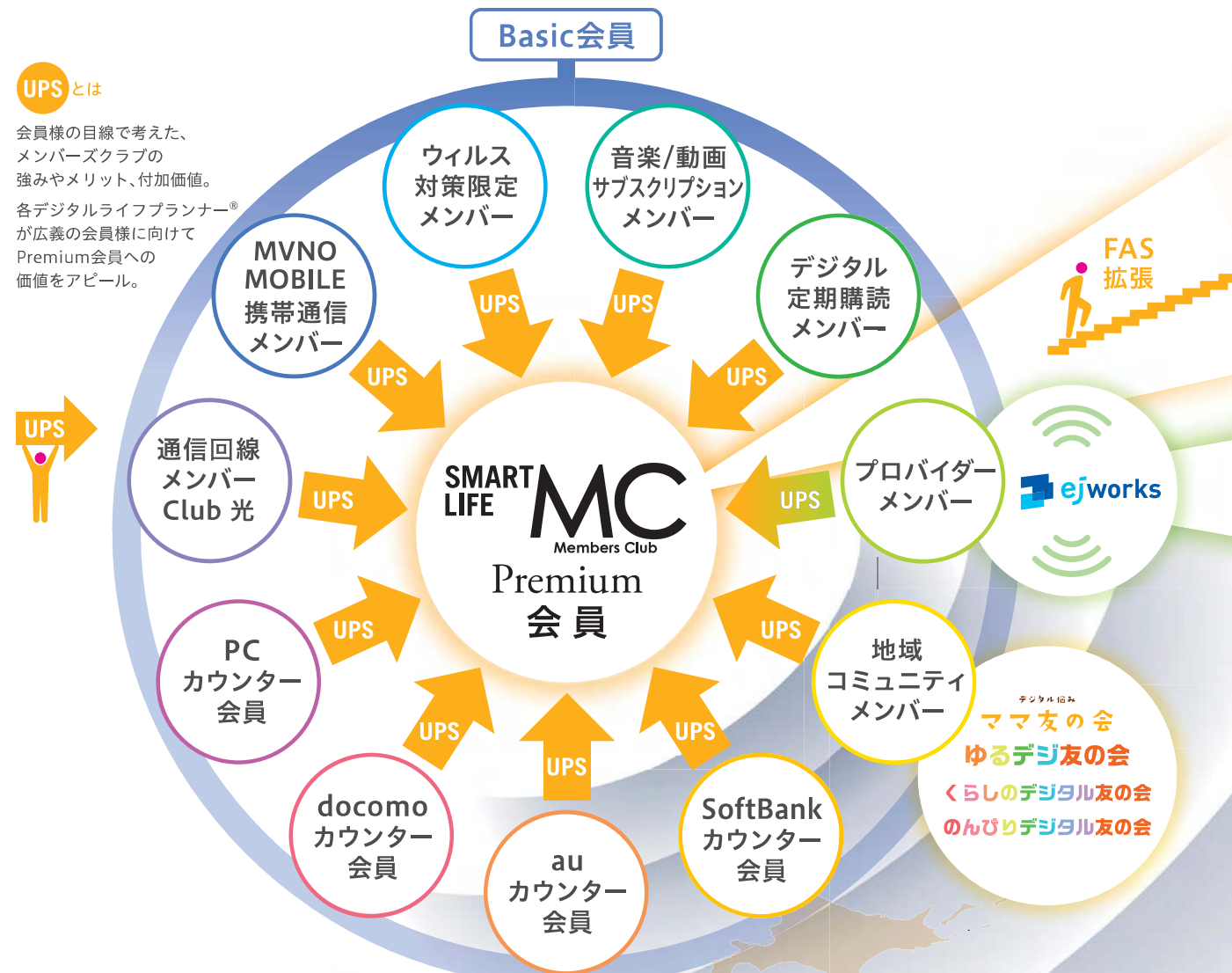
自立自走
への基盤
づくり



グループの強みを活かした拡張戦略

当社の強みである地域密着型のデジタルプランナー®の活動を中心に、高齢化やデジタル格差など地域特有の課題解決に注力します。デジタルライフプランナー®による個別相談や講習会を通じ、住民のデジタルライフと生活の質向上を目指します。

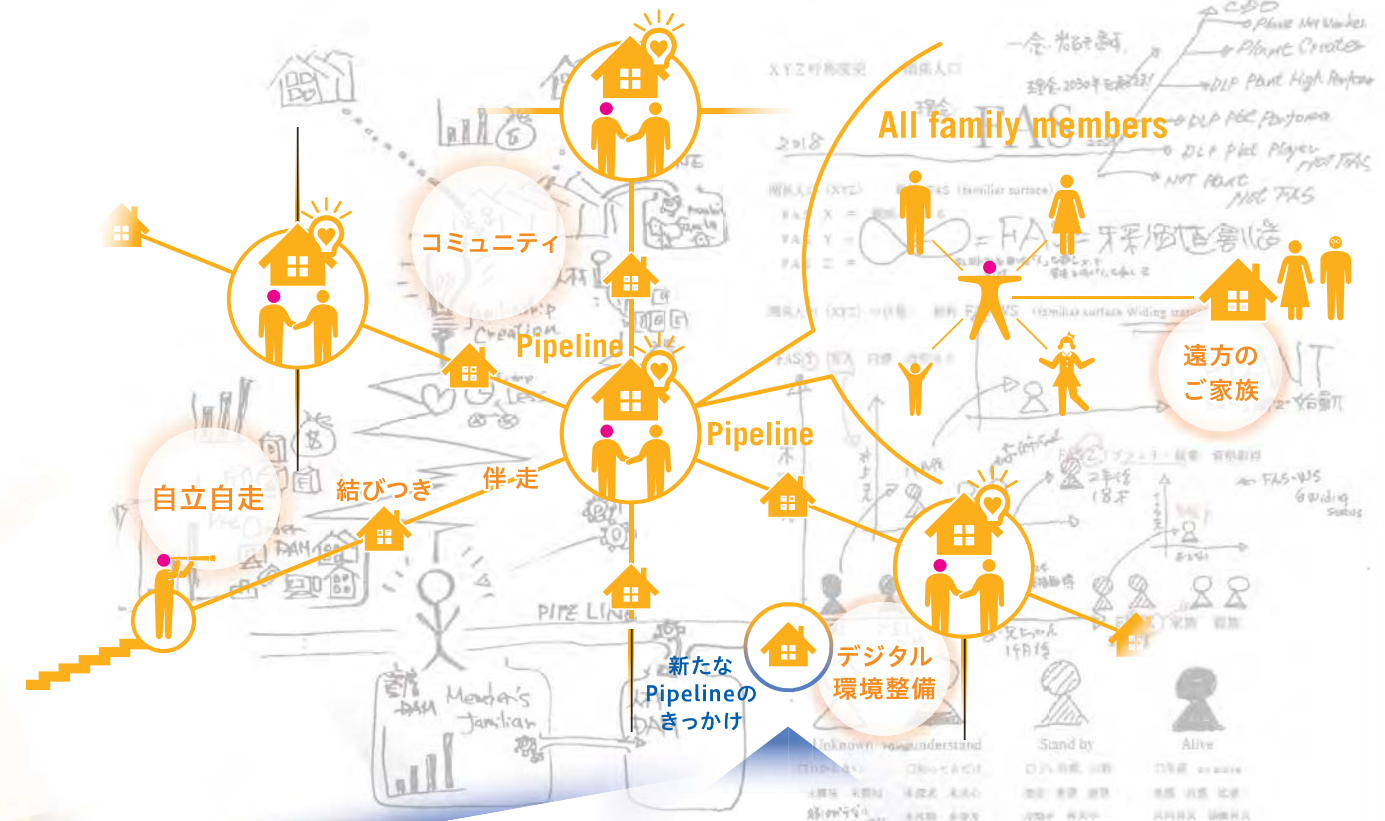
メンバーズクラブ「プレミアム会員」拡大図



日本全国の40万世帯の
会員様の内、事業主は… **8~10万人**

個人事業主様  イージェーワークス

個人事業主会員様向けBtoB営業の確立
・
個人事業主会員様向けアセットの拡充



イージェーワークス連携によるグループのシナジー強化



イージェーワークスが関わる19のISP*会員数 約40,000名
※インターネットサービスプロバイダー

40万人の会員に対する、人を介した高付加価値サービスを提供



例えば...



各社とも従来のインターネット関連だけでなく、スマートライフメンバーズクラブの持つ全国施設やサービスの利用が可能な「ひとつ上のプロバイダーサービス」として、クラブの魅力を案内。プレミアム会員への誘導を行います。

例えば…



ejworksの持つコンテンツ・ノウハウ



イージェーワークスの持つコンテンツ及びノウハウをメンバーズクラブの個人事業主様に提供することで、BtoB営業を確立していくと同時に新たなビジネス(資産)への共創にもつなげていきます。

会員総会の全国開催

2024年6月29日、日頃の感謝と新たなスタートを切ったスマートライフ®メンバーズクラブの活動をお伝えする会員総会が横濱Key Stationを起点として、オンラインでの全国開催され、多くの会員様が参加されました。横濱Key Stationのスタジオから画面越しに、感謝の言葉でスタートした今回の会員総会は、クラブにおける報告やビジョンを受ける場というだけでなく、多くの学びの場にもなるよう、後半では野島社長自ら安全講習に関する講演も行い、大変貴重な機会となりました。



スタジオからメッセージを送る野島社長

第1回 会員総会

皆様にとって“もうひとつの我が家”と思ってもらえるようなクラブを目指し、
デジタルライフプランナー®一同『思いを一つ』に…



2026年度展望 - 会員総会 アジェンダ -

当クラブの資産一覧

- ・人材
- ・地域施設
- ・店舗設備
- ・会員用ラウンジ
- ・修理・診断窓口(くらしのデジタル Family Clinic)
- ・ある地域の紹介(当クラブが持つネットワーク)
- ・横濱Key Station
- ・SMARTLIFE AO校
- ・安全基準
- ・知的財産
- ・会員用出版・放送・教材
- ・会員用商品

デジタル社会の今と
くらしを止めない～安全講習会



掛け合いでのトークも交えながら、和やかな発信に

全国
70拠
点を結んで

横濱Key Station会場



大ホールの大型スクリーンにて話を聞かれる会員様やそれぞれのブース(ミーティングルーム)に分かれ、資料を見ながら、話を照らし合わせる会員様など、野島社長が話される報告を思い思いに共有していました。

東名川崎会場



会員の皆様が、それぞれに設置されたモニターを見つめ、野島社長の話に耳を傾けました。

幕張インター会場



後半で行われた安全講習では、多くのデジタルライフプランナー®も会員様の質問や相談のフォローに入りました。

総会に参加された会員様の声

モニター越しの視聴参加でしたが、単に報告会ではなく、対話的な語りであったこともあり、話がわかりやすく入ってきました。
(60代 男性)

初めての参加ということもあって、楽しみにしていました。総会という堅苦しさもさほどなく、たのになるひと時を過ごせました。
(50代 女性)



会員様の「サードプレイス」を目指して

会員制クラブ施設 長野BASE

デジタル×くらし×学び



くらしのデジタル窓口

長野県77市町村の皆さまのくらしの窓口として、お住まいの地域の担当プランナーが「くらし」と「デジタル」をご案内しています。

SMART
LIFE CS
Smart Life Catalog Selection

SMARTLIFE Catalogue Selection

スマホやパソコンだけでなく、様々なデジタルの厳選周辺機器を紹介するカタログセレクション。



スマートライフ長野BASE 外観



SHOWROOM & TEST DRIVE

安心且つ快適で便利な商品提案へ。会員様の豊かなスマートライフを目指し、多くの厳選デジタル機器が並ぶ商品展示スペース。

Club Lounge

会員様とデジタルライフプランナー®が今後のくらしをよりよくするためのディスカッションをするスペース。会員様は自由にご利用できます。

地域の人やコトをつなぐ ハブとしての役割

スマートライフ長野BASEは、地域のための「サードプレイス」になるべく、長野地域の人やコトをつなぐハブとしての役割を担う施設を目指し日々変化しています。



Club Family Clinic

デジタル機器の診断と修理、相談など幅広くサポート。会員様ご家族の生活を守るデジタルの総合病院。



デジタル友の会 会場

デジタルがあることで広がる楽しさを一緒に体験できる「くらしのデジタル友の会」を開催。地域のコミュニティの場として機能しています。



安心・安全なくらし〜安全講習会場

セキュリティなども含め安全に使うための知識を、楽しく、わかりやすくお伝えしています。毎月開催の講習会ではワークショップも開催



オンライン学習室

個々にデジタル化する社会に関する動画や音声コンテンツによる学習ができる空間を設置。



学びのデジタルレッスン会場

デジタルを用いたくらしを豊かにするためのレッスンを定期で開催しています。レッスンを通じて会員様同士がつながりを持たれることもあります。



学びのパソコン工場

組立キットを使って自由に組立ができる学びをテーマとした施設です。パソコンの仕組みを学び実際に組み立てることによって、さらに学びを深めます。



学びの空間
SMART
LIFE AO
長野校

学びの空間SMARTLIFE AO 長野校は地域に根差した自立学習のための施設です。他の受講生とディスカッションを行い学びを広げることや、探求を深めることで深い学びに結び付けられます。



学びのパソコンクリニック

コンピュータの仕組みや構造を実地で学ぶことができます。「メモリー増設とパソコン内部清掃を体験しよう」「SSD入れ替えを体験しよう」など、さまざまな学びのコンテンツを用意しています。



学びの図書館

施設内に、会員様が自由に利用することができる図書館を設置しています。デジタルだけではなく、その地域に必要なとプランナーが考える書籍をダイバシティーに揃えています。



eスポーツスタジアム

eスポーツをプレイしながら、オンラインで楽しく!世代を超えて笑顔を作る熱気あふれるスペースを設置しています。

会員様の「サードプレイス」を目指して

会員制クラブ施設 九州エリア

デジタル×暮らし×学び

九州地域には【飯塚秋松】【佐賀】【長崎】【鹿児島】と20年以上地域の皆様の暮らしに伴走している施設があり、その核施設にはデジタルライフプランナー®がいます。会員様とプランナー、また会員様同士が相互に関係あい、デジタルと暮らしと学びを通して地域の活性化に貢献してまいります。



スマートライフ佐賀BASE



スマートライフ長崎BASE



九州96市町村の
皆様の暮らしの窓口として、
つながり合う
九州エリア4つの起点



スマートライフ飯塚秋松BASE



スマートライフ鹿児島BASE

Club Lounge

会員様とデジタルライフプランナー®が今後の暮らしをよりよくするためのディスカッションをするスペースです。会員様は自由にご利用いただけます。



スマートライフ飯塚秋松BASE



スマートライフ長崎BASE



スマートライフ長崎BASE

Show Room & TEST DRIVE

カタログに掲載されている会員様の暮らしをよくする商品を実際に見たり触れたり操作の体験ができます。



ショップエリア

多くのデジタル機器が並ぶ商品展示スペース〜この文章はダミーになっていますが、動画のコピーに補足を加える程度の文章を作成。



Club レンタル

暮らしに役立つ製品を必要な時に、必要なものを、必要な期間だけ使用できるレンタル。購入前に試したい、旅行に持っていきたい、設定してお渡しするので安心です。



くらしのデジタル Family Clinic

専門のエンジニアが常駐しています。パソコン・スマホトラブル、プリンタトラブル、データ消失など、よその店舗で購入したもの、保証中でも保証外でもなんでも相談可能です。



九州地域の各会員専用施設は、
地域の会員様の暮らしの窓口として

くらしのデジタル友の会

デジタルがあることで広がる楽しさを一緒に体験できるイベントを開催しています。



写真館

入学式・運動会・旅行・文化祭などのイベント、家族でのお出かけや仲間とのパーティ、たくさんの思い出をご家族みなさんで形に残せます。写真印刷だけでなくフォトアルバムやオリジナルグッズの作成も楽しめます。



メンバーズ広場

地域で活躍中の会員様が情報を発信できる広場(アピールスペース)。飲食店や販売店の販促、生徒やサークル、ボランティアの募集など自由に告知や情報発信ができます。



安全講習会場

日常の必需品となったデジタル機器やセキュリティなども含め安全に使うための知識を、楽しく、わかりやすくお伝えします。毎月開催の講習会ではワークショップもあり、楽しく学べます。



デジタルを通じた学びの場所

施設内には、ネット環境や印刷などデジタル系の設備をはじめ、さまざまな学びのコンテンツや仕組みを用意。今後も、もっと学びたいような内容を増やし続けていきます。



学びのeスポーツ

eスポーツに特化したハイスペックなデバイスやゲーミングチェア、大型のメインモニターも常設。快適にゲームが楽しめる環境で、eスポーツをオンラインやオフラインでプレイ。eスポーツを通して学べます。

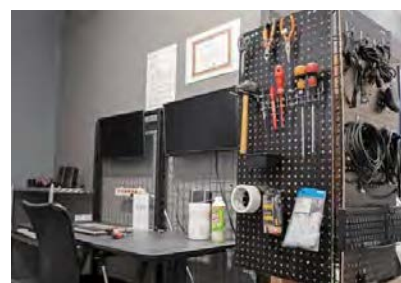
どなたでも気軽にeスポーツを楽しむことができます。

学びの空間 SMART LIFE AO 九州エリア

学びのパソコン工場

組立キットを使って自由に組立ができ、パソコンなどの各デバイスの構造(仕組み)も学ぶことができます。

なるほど、そういうことか...



学びのパソコンクリニック

コンピュータの仕組みや構造を実地で学ぶことができます。「メモリー増設とパソコン内部清掃を体験しよう」「SSD入れ替えを体験しよう」など、さまざまな学びのコンテンツを用意しています。



学びの図書館

施設内に、会員様が自由に利用することができる図書館を設置しています。デジタルだけではなく、地域の情報誌や学びのためのビジネス書などプランナー厳選の書籍を揃えております。



オンライン学習室

スマートライフメンバーズクラブ独自のコンテンツを提供しています。自ら興味を持った分野を学ぶことも、テーマに沿って順番に見ていくこともできます。



学びのデジタルレッスン

毎月1回デジタルワークショップを実施。Macで動画編集やcanvaでグラフィックデザインの基礎を学んだり、現在注目が集まっているChatGPTを体験など、デジタル学習に関する多彩な内容が学べます。



デジタルライフプランナー®資格

デジタル全般の知識や情報だけでなく、皆様のくらしのアドバイスやコミュニティ設計など、これからの時代に向けて「さまざまな分野」で役立つDLP資格。AO校では、その資格取得に向けたサポートを行っています。

デジタル
×
くらし
×
学び
||
地域をつなぐ
中心へ

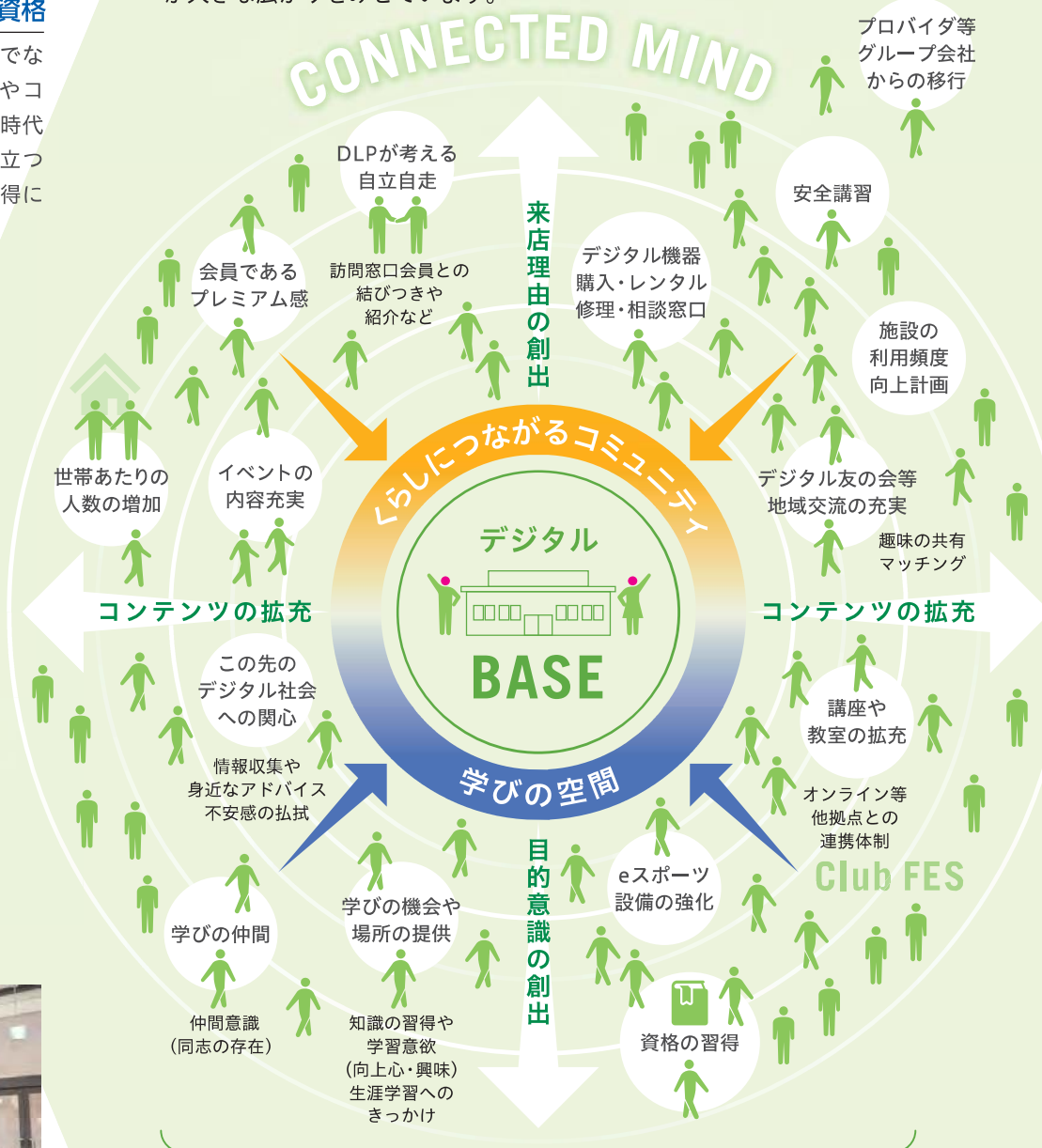


ドローン体験

拠点の中には、ドローンの体験コーナーを常設。興味はあっても操縦する機会のない方に向け、プランナーがドローンの基本的な操作をレクチャーしながら、その魅力を伝えています。

地域活動のメディア化と 関係人口拡大

地域のくらしをメディアに示し、可視化することにより、デジタルライフプランナー®が伴走するくらしが、会員様にご理解いただけるよう努めています。そのことにより、プランナーとBASEを核に各地域での関係人口が大きな広がりを見せています。



長野MODEL

九州地域
MODEL

みなとみらい
MODEL
(47~48ページ)

全国エリアへの拡張

BASEに集う会員様とプランナーの「相互に価値を創出する仕組み」は、地域創生活動のモデルケースとして、全国へと拡張を続けています。

会員様とデジタルライフプランナー®の立ち寄る場として

会員様との待ち合わせ場所×訪問のための拠点

今、PCデポの「店舗」が進化を続けています。PC関連のお困りごとをお持ちのお客様が来店し相談をする「店舗」形態から、会員様のもとにデジタルライフプランナー®が訪問し、デジタル化する社会の暮らしに伴走する「拠点」となっています。



デジタルに関するお困りごと（相談）は、デジタルライフプランナー®がご自宅に訪問し、店舗（拠点）は、会員様が気軽に立ち寄れる「コミュニティスペース」として、また、会員様との待ち合わせの場所や訪問への起点（きっかけ作り）として機能。

会員様との接点（機会）が増増

それらをベースにして、細やか且つ、しっかりとした対応で会員様の暮らしに伴走しています



会員様の暮らしを止めない〜デジタル化する社会に向け、伴走していきます。

私は、ピーシーデポスマートライフみなとみらいBASEの責任者として、またデジタルライフプランナー®として、会員様をお迎えしています。みなとみらいBASEはプランナー一人ひとりが会員様ご家族の暮らしに寄り添う特別な場所です。デジタルライフプランナー®は、単なるデジタルサポートではなく、会員様の暮らしを豊かにするパートナー。人とのつながりを大切に、楽しみながら成長できる環境がここにはあります。一緒に、未来の暮らしを創っていきませんか？

デジタルライフプランナー® みなとみらいBASE 責任者 東 恵美

世界唯一！生活者のためのデジタルライフプランナー® 資格

最新機器やデジタル全般の知識だけでなく、皆様のくらしのアドバイスやコミュニティ設計など、これからの時代に向けて「様々な分野」で役立つ、それが「デジタルライフプランナー® 資格」です。

デジタルライフプランナー® = 生活者を支える = コトを支える資格

生活者のデジタル化したくらしを向上

デジタルデバйд

DLP: デジタルライフプランナー® 資格とは、日本国内のIT資格のなかで初めて、生活者を支える人材、デジタルデバйдを打ち破り、生活を豊かにするための人材スキルを証明する資格制度です。

学び(各課程)の概要

志望申請:

なぜ、何のために、誰のためにこの資格取得を目指すのか、資格取得後の自身のビジョンをアウトプットすることを通し、その志望動機をおうかがいします。

オリエンテーション:

永続的に地域社会に必要な存在であるために学び続ける必要性と、地域社会に貢献する面白さを調査・アウトプットを通し実感して、ディスカッションを経て視野を広げます。

取材・記事制作:

“デジタルライフプランナー® がいるくらし”をされている会員のご家族様に取材をさせていただき、記事制作を通して、この職業の地域性と必要性、永続性を実体感することを目的にしています。

オンライン講習:

オンラインまたはアドミッションオフィスで検定試験前の講習を通し、試験の予習、より実践的なデジタルライフプランナー® の活動について自ら学びます。

検定試験:

職業人としての基盤となる教養やマナー、コミュニケーションのプロセスやデジタルライフのプランニング力まで、5分野55分類の知識スキルを幅広く網羅した試験で検定合格を目指します。

DLP実地実習:

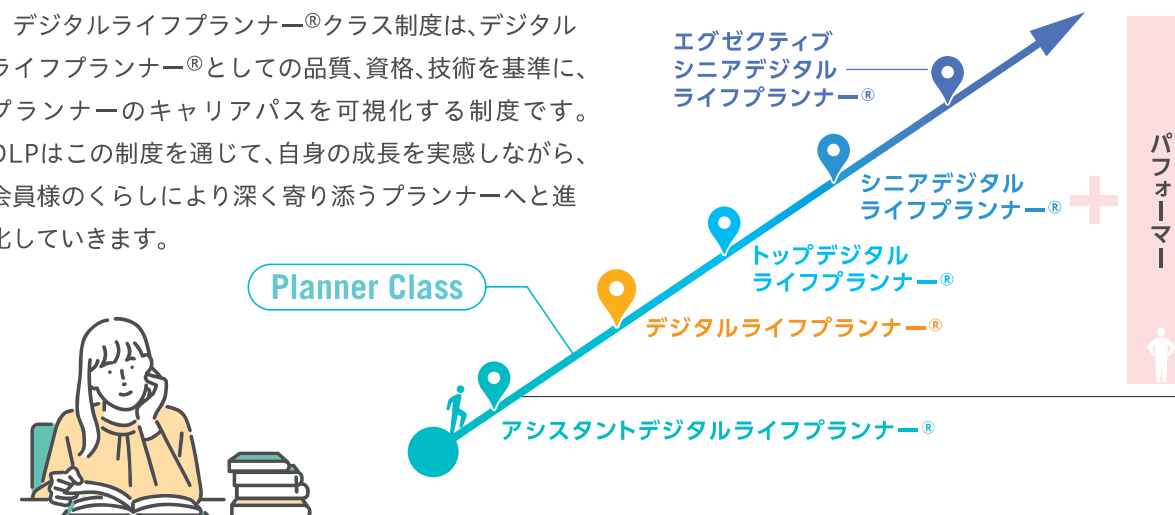
実習講師のプランナーとともに、実際にデジタルライフプランナー® として活動する、より実践的な実習です。資格取得後の自身の姿がより確かなものになることを目的としています。

小論文制作:

デジタルライフプランナー® がいるくらし、その永続性を自ら担保し、自身のこれまでの学びの習慣、客観的な視点も交えた小論文記事を仕上げ、これからの展望を実感することを目指しています。

デジタルライフプランナー® クラス制度

デジタルライフプランナー® クラス制度は、デジタルライフプランナー® としての品質、資格、技術を基準に、プランナーのキャリアパスを可視化する制度です。DLPはこの制度を通じて、自身の成長を実感しながら、会員様のくらしにより深く寄り添うプランナーへと進化していきます。



テストスタンダードに基づく検定試験

5分野55分類の知識スキルを幅広く網羅し、デジタルライフプランナー® のキャリアを拓きます。

27分類	デジタル利用 スマートフォン・PC・デジタルガジェット・デジタルライフ	主要なデジタル基盤・デジタル化したくらし(デジタルライフ)における、具体的なITサポート力を評価。
10分類	生活 デジタル資産と教養・デジタルシティズンシップ	DLPの会員様の理解を深め、会員様のタイプごとに適切な支援力を評価。
12分類	DLPスキル 傾聴 → 描画 → 提案 → 記録 → 計画	会員様とのコミュニケーションプロセスを分解し、DLPとして必要な業務スキルを整理。 DLPの実行能力を評価。
6分類	接遇・マナー DLPの職業観・コンプライアンス	職業人としてのDLPの基盤となる知識と評価。 マナーや接遇の実行力は、試験で知識を確認し、研修や実地で行動面を担保する。
	資質 影響力・人間関係構築・実行力/行動力・計画性/分析力	活躍するDLPの資質を分析し、資質を整理 → DLPの心構えや指針として整理。

検定試験は、全人格的な成長を目指す人を認定する資格認定Chapterの一つとして実施します。

60分50問程度 AO校で受験するCBT(Computer Based Test)で実施されます。
実証実験と統計分析を経て検証された5分野55分類の問題が、バランスよくランダムに出題されます。

知識・スキル + コンピテンシー(行動)

知識やスキルを身につけた上で、どのように行動するかについてを重視した問題群です。
・選択肢問題: 4つの選択肢から、最も適切なものを選ぶ問題
・ケース問題: DLPが仕事で直面する場面をストーリー化したケースから出題される選択肢問題

年次レベルで更新・学び続ける

デジタル社会の変化に応じて、実現できる豊かな生活も多岐にわたり、変化を遂げています。求められる知識やスキルの変化に応じて、継続的に学ぶ人のために知識スキル体系は毎年更新されていきます。テストも順次改訂されていきます。

デジタルライフプランナー® 資格取得認定

デジタルライフプランナー®資格取得認定は、志望から学びと検定、実地実習を包括し、職業人として継続的に活躍できるChapter(カリキュラム)で構成されています。人格的成長を促進し、永続かつ健全な収入を可能にする学びを通じて、立派な職業人を育成する設計となっています。

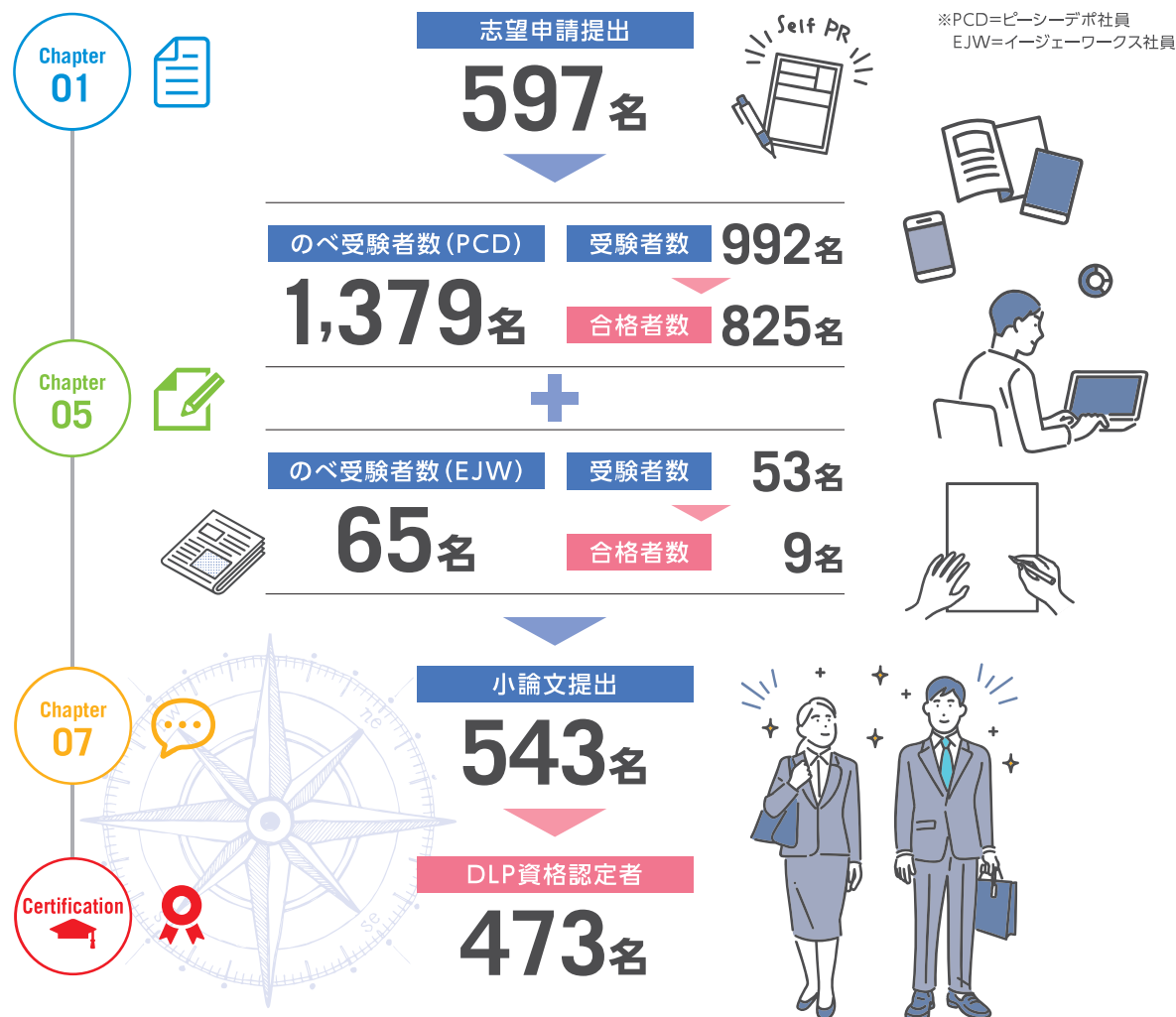
デジタルライフプランナー® 資格試験について

TOIECやTOEFL、海外資格テストと同等レベルのテストスタンダードに基づいた職能試験として構築されており、資格への構築時間：約7万時間、実証実験を4大学を含む、のべ800人以上に実施。PCデボグループ全社員に資格取得を義務付け、その約90%がデジタルライフプランナー®認定の見込みとなっています。

資格取得実績

試験における 分析と考察

一般的に50～100時間の学習時間が必要とされる。
接遇マナー・コンプライアンス・コミュニケーションやシステムなど、5分野55分類のスキル
コンピテンシーを網羅した経験が必要。
特に、会員ご家族様との関係構築や、地域貢献への意思、活動がある者の合格率が高い傾向に。



資格授与(資格認定)について

- 全てのChapter(カリキュラム)を修了して、Permission委員会で認定を受けると、受講者はデジタルライフプランナー®ライセンスが授与されます。
- 修了者は、四半期に一度の卒業式に、実地またはオンラインで参加することができます。



デジタルライフプランナー®認定証

授与式では、デジタルライフプランナー®の「大切な使命」について、澤田哲理氏より熱い思いが語られました。

合格者代表の声

資格取得に向けたプロセス段階でたくさんの学びがありました。

「利他の精神をもって、この職業の普及を通じて日本社会が目指すスマート化社会の実現に貢献する」—デジタルライフプランナー®全員が共有する使命であり、これからの道を照らす羅針盤であると確信しています。
私たちデジタルライフプランナー®資格認定者は、理念に始まり理念を絶やさぬよう、日々の活動を通じてデジタルライフプランナー®という職業の価値を広めてまいります。
また、顧客と共に学び、共に歩みながら、顧客の暮らしに寄り添い続けることを誓います。
自らのくらしも大切にしながら、この職業を持続可能な形で未来につなげることが私たちの務めです。



さらに、職業の名のもとに倫理観を普及し、次世代にこの想いをしっかりと伝え、後進の育成にも尽力いたします。
心、技、体を磨き、人の手から人の手へ、想いを伝える架け橋となるべく、地道・草の根で一步ずつ前進してまいります。
最後に、デジタルライフプランナー®の名に恥じぬよう、人としての誠実さを忘れることなく、社会に貢献していくことをお約束いたします。

この新たな出発点に立つ今日の誓いを胸に、全力で取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

デジタルライフプランナー® 一期生

第一回認定者577名 代表 長谷部 友子さん

くらしを止めない～DLP資格の学びは「安全基準」をベースに、設計されています。

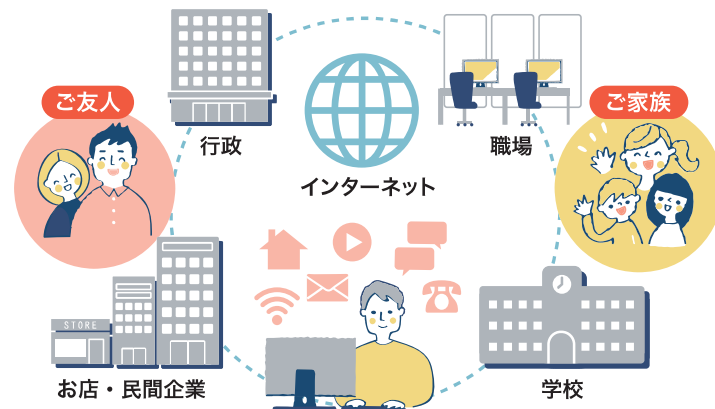
ご家族やご友人、職場など周りの方々の安全・安心のために ご自身・ご家族の安全確保のご協力をお願いします

今や私たちの暮らしに欠かせなくなっているデジタル機器。しかし、機器の間違った使い方をしたり、古くなった機器を使用し続けると、故障やハッカーにとって容易な標的になりやすくなるなどの危険性が高まります。

ご家族の機器にも影響を与えることもあります。この安全のしおりは、会員の皆様お一人おひとりがデジタル機器やサイバーセキュリティ等に関する基本的な知識を理解して、安全に過ごしていただくためのものです。

周囲の方々や関わるすべての方の安全・安心のために、ご自身の安全確保をお願いしております。

日本の社会はデジタル化へ移行が進んでいます。デジタルの世界は地域や老若男女問わず、全国民が参画する基礎的なインフラであると言えます。私たちが社会経済活動を営む上で重要かつ、公共性の高い場として位置付けられています。

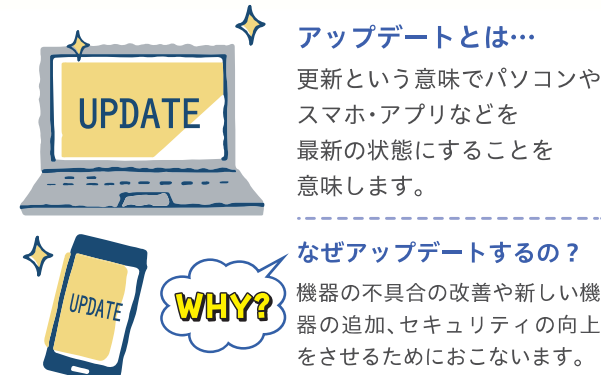


思い出してください！うちにはデジタル担当が付いてることを

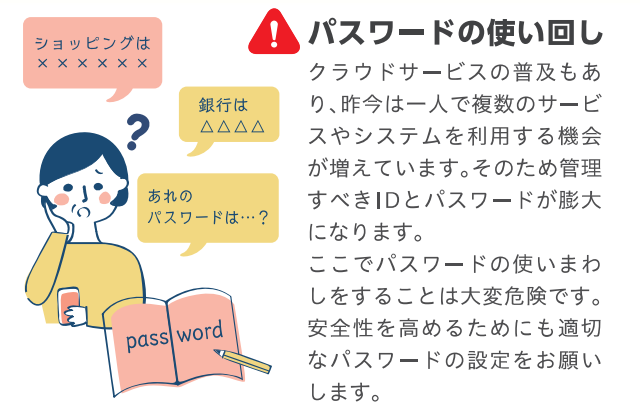


ご自身・ご家族の安全確保のご協力をお願いします

デジタル機器は 最新の状態に保ちましょう



パスワード・個人情報などは 確実に保管しましょう



インターネットを安全に 使える状態にしましょう



デジタル機器は信頼できる人から 購入しましょう



心当たりのない送信元からのメールや添付ファイル、本文に記載されているURLを開くと、詐欺に遭う可能性が高くなります。クレジットカード情報が不正入手され、通販サイトで不正利用される恐れがあり危険です。閲覧できるメール、URLなど「用心」をお願いします。また、そうならないためにも、インターネットを安全に使える状態にしておくことが大切です。

最近、オンラインで手軽にさまざまな機器を購入できるようになりましたが、安価なデジタル機器は偽物である可能性もあり注意が必要です。また、新規購入時には万が一の際に復元できるよう安全処置をお願いします。

大切な情報をバックアップ しましょう



バックアップを行っていないとシステムの不具合やウイルス感染などによる機器の故障、操作ミスで大切なデータが消えてしまう恐れがあります。しかし定期的にバックアップを取ることで万が一の場合でもデータが消失しない済みます。大切なデータや思い出の写真・ビデオなどはバックアップを取り不測の事態が発生しても復元可能な状態にしておくことが重要です。

自動車や自転車の安全運転を お願いします



自動車またはバイク、自転車の運転中におけるスマートフォンなどの使用は道路交通法で禁止されています。また歩行者も注意が必要です。スマホを操作しながら歩いたり、自転車を運転したりすると、他の歩行者や自転車などにぶつかり相手にけがをさせてしまう恐れもあります。「ながらスマホ」は自分自身が思っている以上に危険な行為です。スマホを使う時は周囲を確認しながら立ち止まり、通行の妨げにならない安全な場所で操作しましょう。



これからのAI Robot 時代の

世代を通したデジタルと「学び」のこと、

「学び」の前もった安全運行

ぜひプランナーにご相談ください

～デジタルはこれからの学びや生活に欠かせない財産です。

親御さんは安全に健全なデジタルを心掛けましょう～

未就学期 (お子様が1歳～入学準備)

知育玩具、人、自然に触れ、さまざまな実体験を忘れず、一定の時間でデバイスとの距離を置くか、親と一緒にデバイスに触れること。

乳幼児のうちからデジタル体験をすると、知育能力や創造性が向上し、社会的なスキルも発展します。言語発達や問題解決能力も促進され、未来のデジタル時代に適応できる力が養われます。親と一緒に使うことで適切なコンテンツ、適切な時間の感覚を身につけられます。

[1～3歳程度]

1. 親と一緒に使っているデバイスがオススメ (親御さんがiPadを所有)
2. 家族共有のPC or Macを身近に置き、日常的に使用しましょう



[3歳～入学準備]

3. 親の目の届く時に使うなど時間を制限
4. PCやiPadをお子さん専用など身近に置き、日常的に使用しましょう
5. 子どもが楽しみながら学べる、知育性の高いアプリを親と一緒に楽しむ
6. PCやタブレットを使うようにしましょう

小学校入学準備として早い段階からPCなどに慣れましょう



- 親御さんと共有のiPadを身近に置き、日常的に触れさせ、工夫させましょう!
- 親御さんのコンピューターを、身近な日常に置き、意図的に意識させましょう!

小学生低学年

本物の実体験や、実物の感触、また本物を作る、モノを壊すなど、直に実物を体験する事が必要です。

学びをデジタル能力でアップスケール

1. PCやMacは専用で準備
2. 自分専用のiPadまたはキーボードなどを使っての学習
3. iPhoneは学びの補助として「デジカメや音楽再生」など単機能として使用
4. スマホのみの使用は避けましょう
PCやMacを日常的に使うようにしましょう



小学生低学年がPCやMacなどを用いてデジタル活用すると、学びが楽しくなり、視覚的な理解が促進されます。対話型アプリや学習ソフトは基本的なスキルを強化し、興味を引きながら自己表現力や問題解決力を発展させます。

小学3年生～中学入学

小学生高学年がコンピューターを活用するのは今後の常識と考えてください。リサーチや情報収集が楽しくなります。オンライン学習やプログラミングは論理的思考や協力する力を伸ばし未来のテクノロジーに対する理解力もアップします。

1. 机やリビングではPC、Macなどのコンピューター中心
2. サブ機の利用はiPad
3. そのコンピューターの情報格納基盤にどんどん情報を集められる機能
4. コンピュータは性能が良いものを選ぶ
5. 中学生にはPCまたはMac新品・専用機は是非
6. PC&Macを中心に基礎・基盤ができていなら専用のiPhone
7. 通信料金などのコストを抑えてコンピューター学習の原資にあてることをおすすめします

小さい頃からPCが身近にあるお子さんの、**組立PCデビュー**は、小学生・中学生なら相当な優位性です。=デジタルしなやか人材



中学～高校入学

デジタルは「中学生・高校生の学びの最大の道具」です

「先回りデバイス準備」が肝心

1. この時期からデジタル開始であれば、まず PC or Mac からスタート
2. PCを使い慣れるために、別途大型モニターをおすすめします
3. スポーツ観戦など、自由な実物体験ができる環境を



高校～大学生

□ 自分専用のPC、Macの用意は「高校入学前」が絶対 (早ければ早いほど良いです)

「将来の最大の仕事道具」
= 人間の自発的な情報収集力・編集力・思考力

1. やる気のできるデバイス
MacBook Pro + 大画面モニター / Surface + 大画面モニター
2. サブスクリプションのソフト
Adobe イラストレーター / 各種編集ができるソフト



これからのAI Robot 時代の「学び」の前もった安全運行

世代を通したデジタルと「学び」のこと、ぜひプランナーにご相談ください

子を持つ社会人・主婦

デジタルはこれからの生活に欠かせない「道具」です。先回りが肝要です。「前もって」用意しましょう。

□小学生までのお子さんを持つ親御さま

- ・PCまたはMac、または家族共有のMac
- ・お子さまと一緒に高度なソフト、楽しいソフト、イラストレーターなどに触れる

□未就学～小学生入学ごろのお子さまを持つ親御さま

- ・AIの活用はPC or Macでお子さまと一緒に使いましょう
- ・デジカメ／プリンターなどの機器を使う



Topic

デジタル社会に向けた教育には先回りが肝要です

子ども未来戦略-Children's Future Strategy-

子どもたちがデジタル技術を安全・適切に活用し、豊かな学びや遊びを体験できるように、子ども未来戦略ではデジタルに関する施策を進めています。

具体的には、子どもの年齢や発達段階に応じた教材・カリキュラムの整備や、教員研修の実施により、子どものデジタルリテラシー教育を推進します。また、子どもの興味・関心や学習目標に応じた教育・学習コンテンツや、遊び・体験の機会を提供することで、子どものデジタル体験の質を向上させます。これらの施策により、子どもたちがデジタル技術を活用して、自ら学び、成長し、社会に貢献できる人材として育成されることが期待されています。ただし、政府の戦略は最低限の取り組みであり、先回りした対応が肝要です。

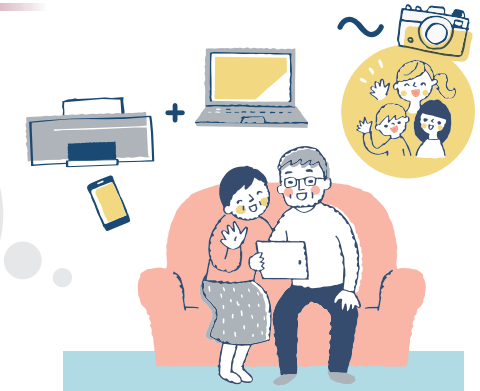


ベテランキャリア

学びがあると楽しく生活にAIやさまざまなデジタル活用が「ワクワク」するように

- ・今後のベテラン生活には不変の使用感であるiPhone + Macは必須級(特に70歳以上)。
- ・これからの長い時間を過去のデバイスの良さを活かして、生活の中心になるデジタル社会に楽に移行できるように備えよう。
- ・iPhoneを普通に(写真・地図・FaceTime 程度)使える状態で、Macで音楽や趣味などとふれあいができます。

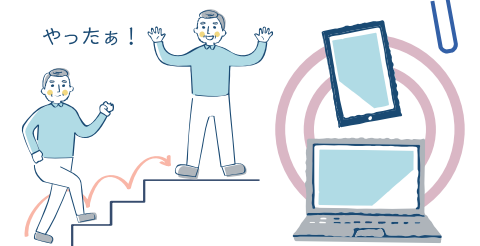
メンバー様はデジタル苦手でも楽に快適スマートライフ



Topic

くらしを止めない学習が大切!

「コロナ禍を抜けたらそこはデジタル社会だった」というように、ここ数年でデジタル社会は目覚ましい変化を遂げています。その中でも、健康や人とのつながりを、今のくらしと変わらないスタイルで保ちながら、焦らず、無理せず、少しずつくらしを止めないデジタル学習を一つずつクリアしていきましょう。



ミドルキャリア

□人生100年時代

- ・デジタル社会から距離を置かない
- ・デジタル苦手のまま快適スマート生活
- ・コンピューターにデータ格納
- ・iPhoneなどのスマートデバイスの活用

□今後の趣味や仕事に役立つデジタル

- ・家族用で共用のiPhone用Macなど
- ・家族の中心にPCやMac
- ・時代で求められる情報編集力に役立つデジタルへ



Topic

安全なデジタル生活にご協力をお願いします



▼ご覧ください▼



2023.12.29開催
資格説明会の様子

世界唯一! ご家族に伴走する資格 デジタルライフプランナー®

最新機器やデジタル全般の知識だけでなく、皆様のくらしのアドバイスやコミュニティ施設など、これからの時代に向けて「さまざまな分野」で役立つ、それが「デジタルライフプランナー®資格」です。

世界初「生活者のための」IT系資格

- これまではIT系「提供者」を認定するための資格でしたが、これは生活者のための資格です。
- その知識を身につけ行動できる資格です。
- くらしに寄り添い、会員の皆様が家族団圓の豊かな生活を送るために、ご家族のデジタル担当をする職業人です。
- 会員様家族専属で、デジタル化したくらしのすべてに寄り添い伴走する、職業人を認定する資格です。

世界唯一

※2024年1月現在

ご高齢者を安全に守りましょう

ご協力のお願い

ご高齢者の安全確保のお願い

年々、送信元アドレスやメッセージ中のリンクを確認しただけで詐欺と見抜くことは難しくなっています。慎重にチェックしましょう。とはいえ、防災情報など安全確保に必要な情報を得る手段としてデジタルは有効です。



ご相談ください

- デジタルは万全ではありません。
- 心当たりのないものは無視し、心当たりがあるものでも、そのメールやメッセージのURLなどへ絶対にアクセスしないようにしましょう。
- ご高齢者の安全を守るサービスや情報アプリなどいつもの担当プランナーにご相談ください。

ご協力のお願い

離れて暮らすご家族の安心

離れて暮らすご家族さまが安心して過ごせるようご家族さまのつながりにご協力をお願いいたします。



ご相談ください

- iPhoneビデオ通話機能を使用して、顔を見ながら会話をしましょう。
- iPhoneを使って写真・動画のやり取りもお勧めします。
- iPhoneや見守りカメラなどを活用して、離れたご家族の安全を見守りましょう。



離れて暮らすご家族の安心向上にご協力をお願いします

全国各地域での、定期的な安全講習会の実施

デジタル社会が急速に進む今…皆様が安心・安全に、また日々の生活において、不便なくデジタルツールを利活用していただくためには、それに伴うリテラシーの向上が必須となっています。

メンバーズクラブでは、定期的に『安全講習会』を開催。会員の皆様に向けた、より良い情報の共有やデジタル機器活用方法におけるさまざまなアドバイスをを行っています。



安全講習会の様子(みなとみらい会場)



長野地域会場より



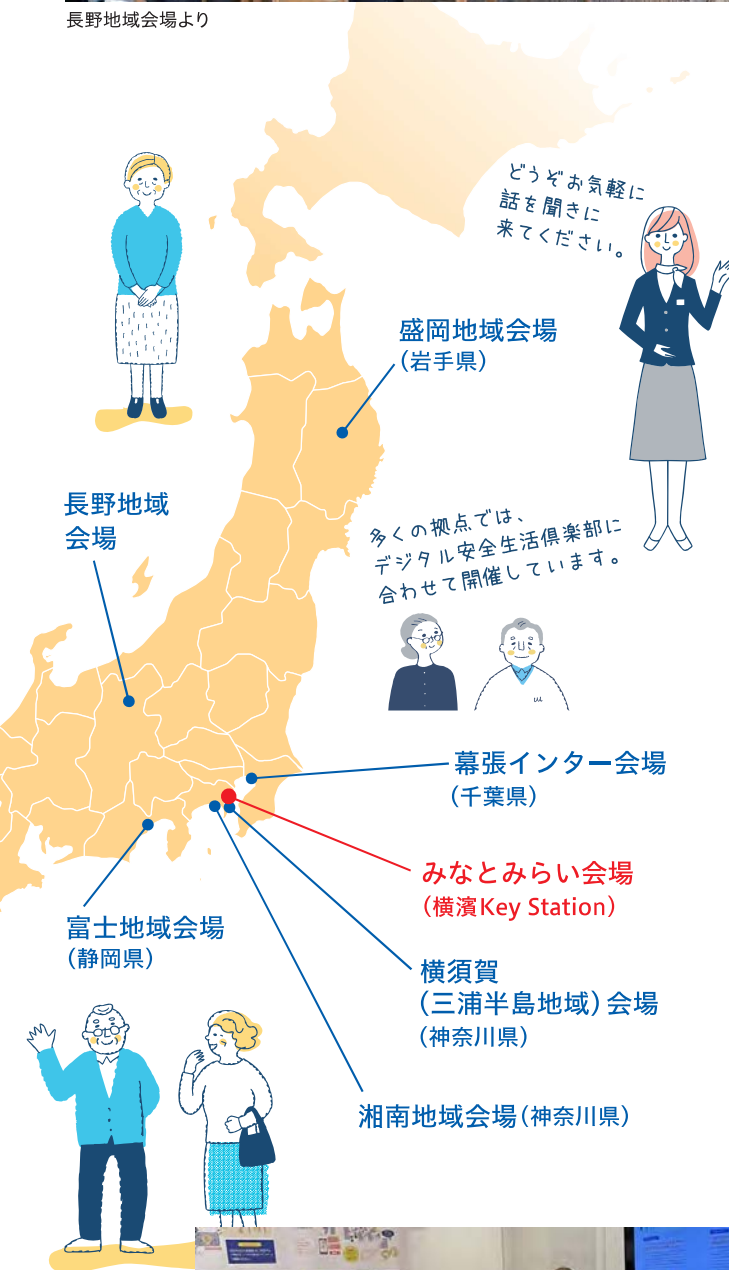
盛岡地域(&八戸・福島)会場より



幕張インター会場より



横須賀(三浦半島地域)会場より



2024年10月より、全国の多くの拠点にて安全講習会がはじまっています。

※一部地域では、以前より開催しております。

- 主な内容
- インターネット環境の安全
 - パスワードの管理
 - 安全なデジタル機器の管理
 - 旅行や外出先の安全
 - インターネット対策 …など

ご家族やご友人、職場など周りの方々の安全・安心のためにご自身、ご家族の安全確保をお願いしております。ご家族の皆様にもこれからも安心してデジタル生活を送っていただくためにも会員の皆様には年1回安全講習にご参加いただきますよう準備をすすめております。ご家族揃っての安全講習のご参加をお願いいたします。



九州エリア:鹿児島会場より



九州エリア:長崎会場より



富士地域会場より



5つの価値提供～当社のマテリアリティ～

今後のIoT機器の普及、少子高齢化、地域格差、人口問題、AI・ロボット化、気候変動・環境問題、世界情勢など来るべき社会構造の変化を鑑み、2018年、次なる成長の確たる考え方として「人間としての生産領域を拡大」という展望を掲げ、「CSR理念に基づく、働き方・生産性・学び方一体改革」に着手いたしました。

顧客の将来価値創造展望、会社の持続性と成長の展望、社員の生活安定への展望をはじめ、あらゆるステークホルダーにとっての展望であります。(2018年5月25日付「ステークホルダーの皆様」より)



デジタルライフプランナー®による価値提供の実現

社会との関わり方・今後について社会環境の変化に対する考え方

人口構成・少子高齢化や今後のシルバー世代増加等により発生する、デジタル機器との世代ギャップなどの解消に貢献します。



環境、エネルギーに対する考え方

家庭内の使われない休眠デジタルデバイスの活性化、中古品買取・再販、修理などで再活用にご貢献します。



働き方、生産性、学び方改革に対する考え方

働き方改革によって、スタッフの学び時間が創出されたことにより、顧客の計画的な需要創出に貢献します。



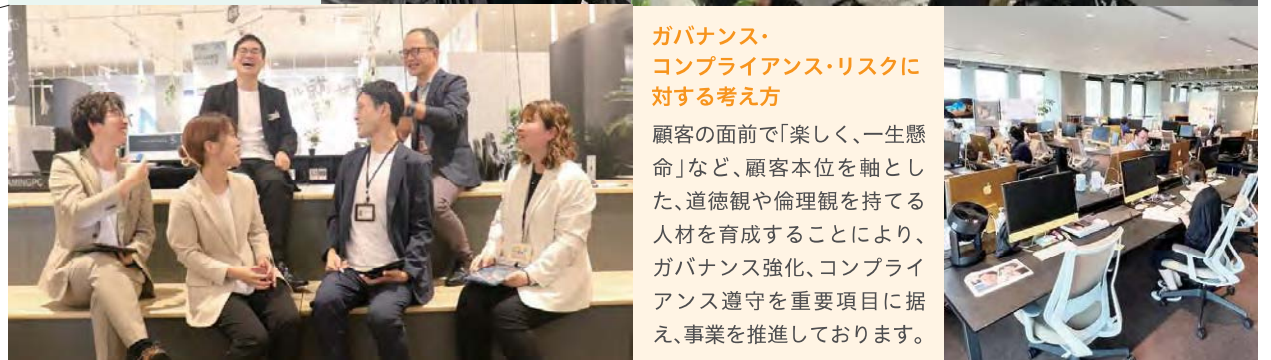
楽しさ、人と人のコミュニケーションによる未来創造の可能性

当社スタッフは、FACE to FACEのコミュニケーションからすべての商品・サービス・空間・雰囲気を提供し、楽しさや未来創造を顧客に提供しています。



ガバナンス・コンプライアンス・リスクに対する考え方

顧客の面前で「楽しく、一生懸命」など、顧客本位を軸とした、道徳観や倫理観を持てる人材を育成することにより、ガバナンス強化、コンプライアンス遵守を重要項目に据え、事業を推進しております。



Social

[社会]

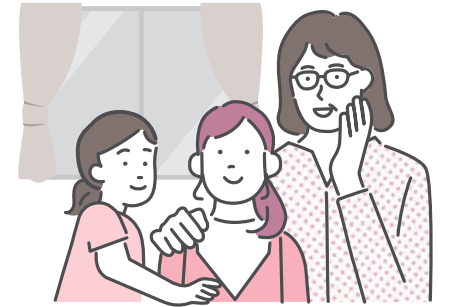
全ての会員ご家族様の
くらしを止めない!

01

2～3時間の自分の時間に音声による読書で楽しんでいます

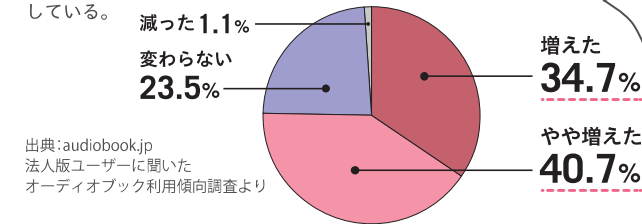
ピーシーデポ スマートライフ長野BASE K様ご家族

長年八百屋を経営していて、予約注文対応から総務業務で忙しい日々を送っています。デジタルライフプランナー®が家に来てくれるおかげで、最近デジタル活用の第一歩を踏み出したところです。オンラインでの書籍購入や音声による読書ができる設定などを手伝ってもらいました。忙しさの合間に文字を見ながら音声で聴くなど、自分の時間を楽しんでいます。最近は新聞をとるのもやめましたが、新聞のダイジェストを音声で聴くなど、偏らない情報収集にも役立っています。どのアプリが有効で安全なのか、デジタルライフプランナー®に相談しながら利用できていて、安心です。



DATA オーディオブックを利用後、 日々の読書量や情報インプット量の変化 (audiobook.jp 法人版ユーザー)

オーディオブックの利用で、利用者の75.4%が日々の読書量や情報インプット量が増えた(「増えた」34.7%、「やや増えた」40.7%)と回答している。



デジタルライフプランナー®より

デジタルを有効に利用することでくらしの豊かさはまだまだ広がっていただけると思います。デジタル環境の変化が激しい中、その変化に備え、デジタルライフプランナー®のいるくらしの普及にご協力をお願いします。

大林 みどり

ピーシーデポ スマートライフ長野BASE

Members' VOICE



ピーシーデポ
スマートライフ鹿児島 BASE
N様ご家族

デジタル機器を購入した後の安全な使い方や定期的な点検については、普段デジタルライフプランナー®にお任せしています。5月に、鹿児島で開催されたデジタル安全倶楽部に参加しました。安全倶楽部では、信頼できる情報をわかりやすく伝えてもらえて勉強になりました。もっといろいろと知って、自分自身や家族が安心できるくらしにむけて、チャレンジしていきたいと思っています。

自分自身や家族が
安心できるくらしのために

デジタルライフプランナー®より

「焦らず、無理せず、欲張らず」を合言葉に、ご家族や友人、職場で一緒に安心安全にデジタルを楽しみましょう。デジタルライフプランナー®のいるくらしの普及にご協力をお願いします。

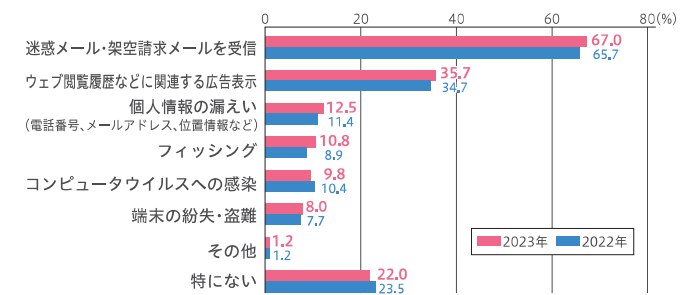
内山 亮青

ピーシーデポスマートライフ鹿児島BASE



DATA 個人の情報通信機器の利用の際の被害等の状況 (複数回答)

総務省の通信利用動向調査によると、個人では迷惑メール・架空請求メール受信による被害経験が67%と最も多い。以下、Web閲覧履歴などに関連する広告表示が35.7%と多く、個人情報(電話番号、メールアドレス、位置情報など)の漏えいやフィッシングなどは2022年の調査よりも2023年の調査で増加している。



Members' VOICE

すぐに相談できる人がいることは本当に安心です

ピーシーデポスマートライフ越谷BASE O様ご家族

車の免許証書き換えの際に、免許センターからのハガキに、支払いが「キャッシュレス決済」との記載があり、現金の利用ができないとのこと。免許センターに問い合わせたところ、指定のクレジットカードや電子マネーしか使えないようで、困りました。アプリを入れる手伝いなどしてもらい、書き換えができましたが、街中のデジタル化に驚きます。学校の先生をしている娘は、生徒に教える立場ですが、教員向けの研修だけでは足りず、わからないことはDLPに相談しています。

デジタルライフプランナー®より

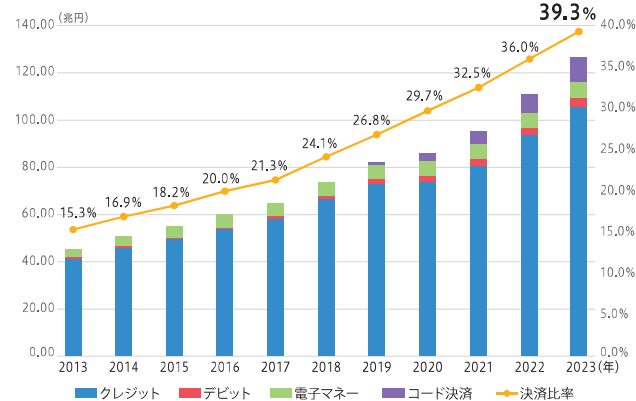
街中のあちこちがデジタル化できています。会員の方々がお困りになり、くらしがとまることのないよう、前もって一緒に準備するようにしています。デジタルライフプランナー®のいるくらしの普及にご協力をお願いします。

井上 大輝

ピーシーデポスマートライフ
越谷BASE

DATA キャッシュレス決済額及び比率の推移

経済産業省のキャッシュレス決済比率目標は、2025年までに4割程度としており、2023年で39.3%と堅調に進んでいる状況。ただ、先進国では50%を超える国が多く、アジアでも韓国、中国は9割を超えており、今後もこの比率は高まります。



出典：経済産業省 2023年のキャッシュレス決済比率

Members' VOICE

デジタルライフプランナー®より

娘さんからいただいたお礼のお手紙や手作りギフトは私の宝物です。ステキなファミリーで、いつもほっこりした気分になります。これからもデジタルライフプランナー®のいるくらしの普及にご協力をお願いします。

森下 晴未

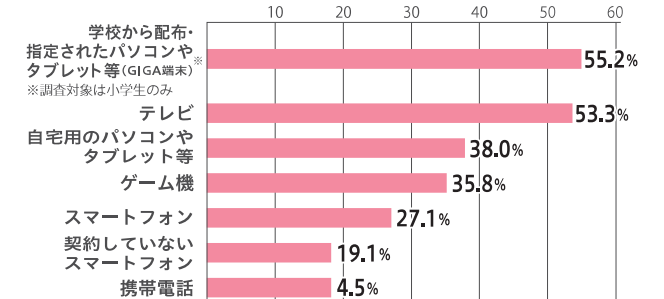
ピーシーデポスマートライフ辻堂BASE



DATA 低年齢層の子どものインターネット利用状況

低年齢層(0歳~9歳)の子どもの74.9%がインターネットを利用しており、小学生(6歳~9歳)は90%が利用している。

■インターネットを利用している機種



出典：こども家庭庁 令和5年度 青少年のインターネット利用環境実態調査

Members' VOICE

離れてくらすご両親もデジタルを利用し安心して楽しく過ごしています

ピーシーデポスマートライフ青梅BASE O様ご家族

田舎でいろいろな野菜や果物をつくり、ほぼ自給自足の生活をしている両親。山の中にあるダムの周辺を一日2万歩も歩く趣味は健康的でよいのですが、最近は熊なども出るため心配でした。私が離れてくらすしていることもあり、何かあったときのため、転倒検出/緊急SOS機能が付いているスマートウォッチを渡しています。娘は町おこしをテーマにした活動に、パソコンを活用して取り組んでいます。私が経営している美容室をいつかスタジオに改造して、活動したいと考えているようです。

DATA ウェアラブル端末で利用している機能

ウェアラブル端末市場は年々拡大しており、購入理由としては健康に関する項目が多い結果となっています。「歩数を測定できる機能」(67.3%)「ウォーキングやランニングの記録をしてくれる機能」(62%)など健康に関する機能がその利用理由となっています。



出典：MMD研究所「ヘルスケア意識とウェアラブル端末の相関性と今後の予見」より



デジタルライフプランナー®より

電波が悪くスマホが通じないと困っていた中、光回線を設置。その時にいただいた美味しいスイカの味を今でも覚えています。離れてくらす娘さんとは両親を結び、デジタルで安心してくらすよう取り組んでいます。デジタルライフプランナー®のいるくらしの普及にご協力をお願いします。

西野 宏之

ピーシーデポスマートライフ青梅BASE



Members' VOICE

デジタルに触れる機会が増え、世界が広がりました



ピーシーデポスマートライフ盛岡BASE I様N様ご友人

スマホとパソコンを別の目的で利用していました。デジタルライフプランナー®に相談し、目的や方法を整理し、窓口をひとつにすることとしました。おかげで両方とも使いやすくなりました。支払いサイクルを変え、出費も抑えることができました。今は、友人のNさんを誘い、くらしのデジタル友の会の活動に参加しています。デジタルに触れる機会が増え、くらしを楽しむ世界がさらに広がっています。



デジタルライフプランナー®より

ご家族はもちろん、ご友人である会員の方々にも、友の会や各種倶楽部活動を通じてくらしを楽しむ機会が広がるように挑戦しています。デジタルライフプランナー®のいるくらしの普及にご協力をお願いします。

小杉 なつみ

ピーシーデポスマートライフ盛岡BASE

Environment

[環境]

一人ひとりの行動が、
大切な未来を創る！

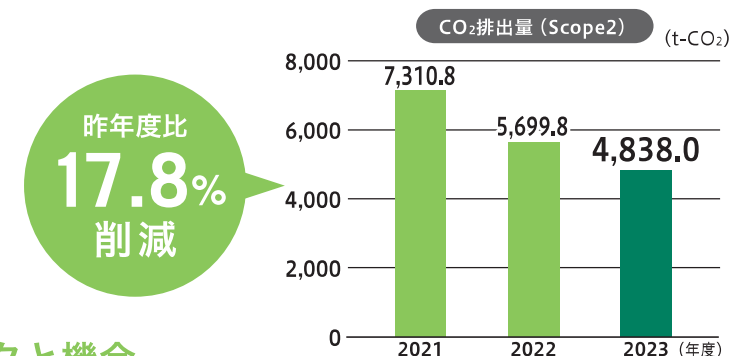
02

PCデポが取り組む環境対策

業態変更による環境への対応

PCデポは、現在、小売流通ビジネスからサブスクリプション型会員ビジネスにビジネスモデルを変換しています。現在の会員様との接点となっている店舗事業では店舗運営に伴う相当の電気使用を行う業態から、より電気使用量が少ないビジネスモデルへと業態を変えようとしています。また、会員様のご家族内でのスマートフォンやPC再利用(お下がり、お上がり)によって、大量生産・大量消費によらない、循環型社会の実現に向けた貢献をしています。

2023年度の当社のCO₂排出量は、4,838.0t-CO₂となり、2022年度の5,699.8t-CO₂に比べ17.8%削減しました。売上高原単位ベースでは、0.179t-CO₂/百万円となり、昨年度の0.188t-CO₂/百万円から低減しています。



気候変動に対するリスクと機会

近年の自然災害の規模拡大化・頻発化(100年に一度の洪水の頻発など)を考慮すると、大型の自然災害によって店舗操業は大きな影響を受ける可能性が高まっています。自治体のハザードマップを確認し、水害などの被害が起これば事業に大きな影響を及ぼす店舗を特定して、対策しています。

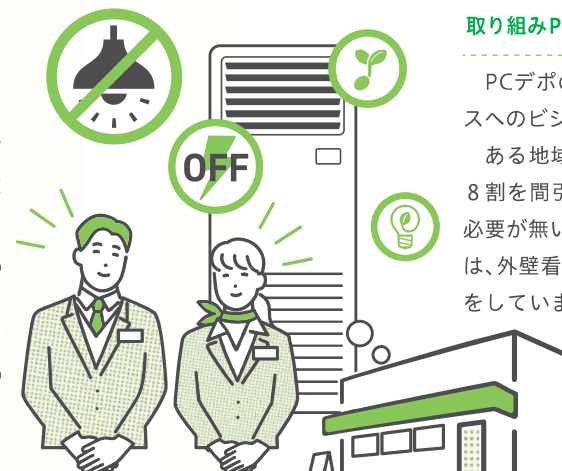
小売流通ビジネスから会員ビジネスに変換することで、顧客会員様に対し、すでに利用しているデジタル機器を世代を跨いで利用し、リサイクルを可能にしたり、より低環境負荷製品を提供することで、利用時のCO₂排出量を抑えつつ、顧客の信頼とサービスの提供につなげていくことを可能とします。

新会員施設CLUBHOUSEを所沢と川越に開設しました。会員様向け施設(ベース)となり、利便性が高く、関係者が集まりやすい場所として、さまざまな情報発信、イベント開催、そして会員間やパートナー企業様とのコラボレーションの可能性を拡げます。



Digital Life Planner Report

各地域拠点(店舗)での
環境配慮への取り組み



取り組みPickUp ピーシーデポ スマートライフ 日吉BASE

PCデポの各地域拠点(店舗)では、小売業から会員ビジネスへのビジネスモデルを変換してきました。

ある地域拠点では、昼間の明るい時間帯の駐車場照明の8割を間引いたり(明るさで不特定多数のお客を呼び込む必要が無い)、原則水曜日に設定されている拠点の休業日には、外壁看板の照明を切ることで環境負荷を軽減する努力をしています。また、人のいない場所のエアコンを切り、冷暖房効率を上げることで、お客様にもご協力いただきながら、無駄な電気使用を削減しております。

Education

〔教育〕

チームワークと自立自走



03

人的資本型ビジネス積極投資～自立実習研修01

約3カ月の新入社員研修と実地研修

新入社員研修

期 間 2024年4月8日～11日

開催概要 24年4月入社58名が宿泊を伴う研修を実施。デジタルライフプランナー®とは。その役割、意義を考え、関係人口を拡大するための考え方を学ぶ

2024年4月、58名の新入社員が入社し、DLPとして活躍できるように研修を受けました。新入社員研修では、DLPとしてのさまざまな知っておくべきことについて研修を受けながら、昨年同様来年の入社案内用動画を作成しました。その後、約3カ月間にわたりさまざまな地域Baseで実地研修を6月末まで受け、本配属となったエリアでの活動を始めています。



社長挨拶



新入社員代表の挨拶を見守る仲間



副社長齋藤から地域で経営をしていくことの大切さを聞く



チームに分かれ、ディスカッションを繰り返す

新入社員の思いと取り組み

故郷への想いを活かし、 会員様に寄り添う存在に

生まれ育った長崎への深い愛着を胸に、地域の方々への貢献を志して入社いたしました。私の長所でもある明るさや、人と話をすることが好きな性格を活かし、会員様一人ひとりに真摯に向き合い、ご満足いただけるサービスを提供してまいります。

デジタルライフプランナー®という職業に誇りを持ち、日々の業務を通じて成長を実感しながら、会員様との信頼関係構築に努めます。また、全国のDLPとの縦横のネットワークを大切に、より良いサービスの提供に尽力いたします。



松本 涼香

ピーシーデポスマートライフ長崎BASE

地域のデジタルライフを より豊かに

デジタル技術が暮らしに不可欠となった現代、地域社会においてデジタルを活用した豊かな暮らしの実現に貢献することが私の使命です。

港南地域の会員様とそこそご家族の豊かなデジタルライフの実現に向け、笑顔を決やらず誠心誠意取り組んでまいります。自分らしさである「いつもの笑顔」で会員様と接し、信頼関係を築き、満足度を高めてまいります。そしてご家族のより豊かなデジタルライフを実現しながら、地域全体の生活の質向上に寄与してまいります。



田中 太一郎

ピーシーデポスマートライフ港南台BASE

Entertainment

[楽しさ]

さまざまな視点から
物事を捉える発想力を...

04

デジタルを核に「楽しさと学び」でつながる会員様の輪

くらしのデジタル友の会

「デジタルがあることで広がる楽しさ!」を、ワイワイと一緒に体験したり、学んだりする各種倶楽部活動を「くらしのデジタル友の会」として運営しています。主体となるのは会員の皆様ご自身。ご家族やお知り合いの方もお誘いいただきながら、各倶楽部活動を通じて、地域のコミュニティとしての輪が広がっています。

写真倶楽部

写真好き仲間になりませんか?



思い出の写真の上手な整理方法やスマホでの撮影・編集など写真を「撮る・見る」をもっと楽しむための活動をしています。

デジタル安全生活倶楽部

焦らず・無理せず・欲張らずデジタルの安全運行を



日常に欠かせなくなっているデジタル機器。会員の皆様お一人おひとりが安全に暮らせるよう、実際に機器を操作し、セキュリティ強化を一緒に行っていきます。

eスポーツ倶楽部

世代を超えて、様々なゲームで一緒に楽しみましょう!



お子様、パパママ、おじいちゃんおばあちゃん〜世代を超えて笑顔が生まれるコミュニケーションの場です。

AI活用倶楽部

信頼できる人と一緒に、AIを右腕に未来を切り拓く!



AIの仕組みから具体的なシーンまでを紹介。AIとうまく付き合い、生活を豊かにしていきます。

デジタルを通した
日々の豊かなくらしを実現
(新たな楽しみの創出)

くらしのデジタル友の会
への参加

同じ思いを持っている
仲間との出会い
(地域貢献活動)

商店主倶楽部

個人事業主の皆様のデジタルを応援!



個人事業主の皆様にビジネスで役立つ情報(スケジュール管理・電子領収書保管・迷惑メールの対処法など)を共有し、デジタルを活かした販促などにも一緒に取り組んでいます。



ママ友の会

子育てママもお子さんと一緒にデジタル!



親子で楽しめるワークショップやメルカリ体験・季節に合わせたイベントなど、ママだから感じるデジタルの付き合い方を一緒に分かち合います。



SHONAN NFT アートコンテスト2024 応募総数 1970作品!

詳しい内容は



イージェーワークスでは、デジタル技術を活用した様々なプロジェクトを通じて、地域社会と未来の可能性をつなぐ架け橋として活動を展開してきました。2024年も、多くの新しい試みが地域や参加者に喜びと感動をもたらしました。

湘南金賞

「青の時代」岡虎次郎さん



Movie
江ノ島を舞台にした、甘くせつなくほろ苦い、アニメーション作品。

FMヨコハマ賞

「ドライブ・マイ・カー」Royさん



Fm Yokohamaから流れるポップミュージックを聴きながらR134をドライブ。

湘南ゴールドエナジー賞

「金色湘南」Kugephotoさん



「金色湘南」を印刷した湘南ゴールドエナジーを限定販売!

NFTアートコンテストと海の豊かさを守ろうプロジェクト ～継続的な貢献で地域を支える～

「湘南の海の豊かさを守りたい」という思いから始まった本プロジェクトは、2022年の開始以来、3年連続で「かながわ海岸美化財団」への寄付を実現しました。NFTを活用してクリエイターと共に作品を販売し、収益の一部を寄付するこの取り組みは、地域住民や企業からの共感と支持を得ています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



デジタル技術で盛り上げるイベント体験

【デジタルヨセガキ】

杉山愛さんが監督として参加した、女子テニスの国際大会2024 ビリー・ジーン・キング・カップ by Gainbridgeで、来場者がリアルタイムでメッセージを共有できる「デジタルヨセガキ」を提供。革新的なデジタル体験がイベントをさらに魅力的なものにしました。



【デジタル体験】

AR・VRでのメタバース体験や写真から3Dフィギュア制作など、最先端技術を駆使した取り組みで参加者と地域に新しいつながりを生み出しました。



Governance

[コーポレート・ガバナンス]

PCデポのガバナンス・リスク・コンプライアンス

デジタルライフプランナー®は会員様やご家族の大切な情報を取り扱うため、PCデポは会員様本位を軸とし、道徳観や倫理観を持てる人材を育成することに注力しています。組織のガバナンス強化、リスク管理、コンプライアンス遵守を重要項目に据え、社外取締役の専門的知見も組織の監督機能に折り込みながら、デジタルライフプランナー®の活動を見守り、組織を監督しています。

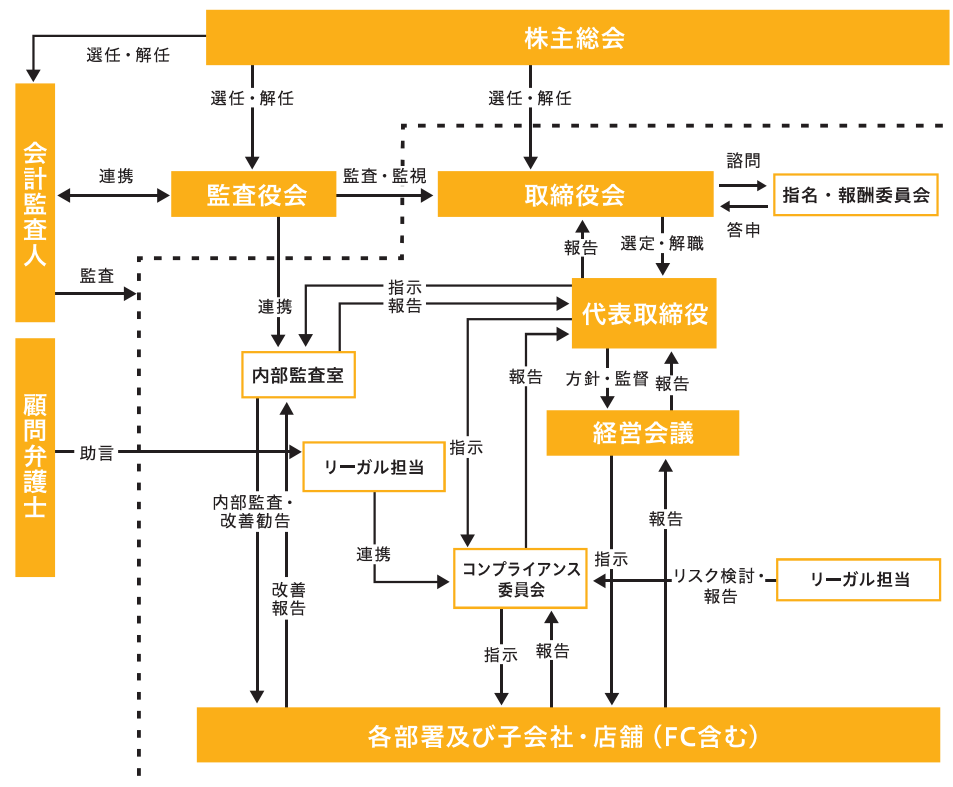
コーポレート・ガバナンスの概要

当社は、透明性が高く健全で公正な経営を維持するため、取締役会の監督機能強化を図りながら迅速な経営を推進し、コーポレート・ガバナンスの強化を図っております。その充実のため、適時・適切な情報開示による経営の透明性の確保並びに統制環境の強化を重視しており、今後もコーポレート・ガバナンス体制を随時見直し、企業価値の向上を目指してまいります。

当社は、監査役会制度を採用するとともに社外取締役並びに社外監査役を招聘することにより客観的な経営監視体制の確保をしています。

【コーポレート・ガバナンス体制】

※2024年11月30日現在



■ 取締役会

取締役会は、原則月1回の定例取締役会を開催し、必要に応じて臨時取締役会等を開催しており、取締役会の決定に基づく職務執行については業務分掌規程等においてそれぞれの責任、執行について定めております。取締役会は取締役井澤秀昭(社外取締役・新任)を議長とし、代表取締役社長執行役員野島隆久、取締役副社長執行役員齋藤秀樹、取締役大関均(社外取締役・新任)の4名で構成されております。また監査役である浅山隆嗣、野口誉成(社外監査役)、加藤佑子(社外監査役)が出席し、取締役の業務執行を監督する体制となっております。

■ 監査役会

監査役会は、常勤監査役の浅山隆嗣を議長とし、常勤監査役1名、非常勤監査役2名で構成されています。監査役は、取締役の職務執行状況を監視するほか、内部監査室及び会計監査を執行する監査法人と連携をとり、会社全体の業務執行の適法性について確認及び財産の状況調査などを実施しております。

■ 経営会議

意思決定の迅速化のために、経営会議を必要に応じて開催し、関係部署からの報告に基づいて情報を共有し、十分な議論の上、業務に関する重要な意思決定等を行っております。議長は代表取締役社長執行役員野島隆久が務め、取締役副社長執行役員齋藤秀樹と6名の執行役員によって構成されています。

委員会活動

■ コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会は、原則月1回の定例会を開催し、リーガル担当と連携を図り、必要に応じ法令や報告されたリスクを検討し、対策を講じております。

■ 指名・報酬委員会

3名以上の取締役などで構成し、うち過半数は社外取締役とする取締役の諮問機関の「指名・報酬委員会」は、取締役等の指名及び報酬などについて審議することにより、社外役員の知見及び助言を活かすとともに、取締役等の指名及び報酬等の決定に関する手続きの客観性及び透明性を確保し、取締役会の監督機能を向上させ、コーポレート・ガバナンス機能の更なる充実を図ります。

社外役員

取締役4名のうち社外取締役2名、監査役3名のうち社外監査役2名の体制であり、かつ社外役員のうち4名を独立役員とする体制により、コーポレート・ガバナンスの強化を図るとともに、一般株主の利益保護に努めております。

東京証券取引所が定めるコーポレートガバナンス・コード(原則4-9)及び独立性基準を参考に、独立社外役員及び独立社外監査役の独立性を担保するために「独立社外役員の独立性判断基準」を定め、それを満たしています。

内部統制システムの構築に関する取締役会決議の概要

当社は、取締役並びに従業員が法令・定款等を遵守することの徹底を図るとともに、リスク管理体制の強化にも取り組む等、内部統制システムの充実に努めます。月1回開催の取締役会では、法令遵守の観点から取締役の「心得」の確認、執行役員・従業員は半年ごとに「誓約書」への署名押印を行い、コンプライアンス並びに職務倫理を再確認するとともに、必要な教育・研修を実施します。

定期的で開催する「リスクマネジメント委員会」にて、当社グループに及ぼす影響の大小や緊急性によりリスクレベルの格付を行い、それぞれのレベルに応じた予防策を講じます。また、「コンプライアンス委員会」にて、当社が適法な事業活動を行うための予防策を講じます。

当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

● 内部監査・内部統制部門

子会社を含むグループ全社の統制環境の構築整備／運用の推進を図り、組織横断的な統制機能の主管を果たします。また、部署別実地監査・店舗実地監査を定期実施します。監査結果については、代表取締役並びに監査役へ定期報告を行います。また、被監査部門に通知し再発防止策とその実施報告を受けます。なお、内容等については社内規程に随時反映し、再発防止につなげます。

● 内部相談窓口・内部通報窓口・弁護士直通ダイヤル

相互牽制により、自浄作用が活かされる仕組みとして運用します。当社は、「内部通報規程」において、当該報告をしたことを理由として、当該報告者に対して、不当な取り扱いを行うことを禁止します。

当社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社では、定例の取締役会を原則月1回開催し、重要事項の決定及び各取締役の業務執行状況の監督を行うとともに、業務執行上の責任を明確にするため、取締役の任期を1年と定めます。また、取締役会の決定に基づく職務執行については、業務分掌規程等において、それぞれの責任、執行手続きの詳細について定めます。

取締役会の実効性評価

当社は、取締役会の役割・機能・規模・構成・運営等、取締役会全体の実効性を評価し、取締役会で審議した上で、その結果の概要を開示するとともに取締役会の運営改善に活用いたします。

取締役会の実効性評価は、原則2年に1回の実施としております。実効性評価の実施は適宜検討し、必要に応じて行います。なお、2024年3月は実施していないため、2022年度の評価結果として概ね実効性のある取締役会の運営がなされていることが確認されました。一方で、後継者計画や取締役会の議事運営等の改善が、課題として認識されました。

役員の報酬制度

当社は、取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。本方針は、過半数を社外取締役から、委員長を社外取締役から選任する指名・報酬委員会にて、審議しています。取締役の個人別の報酬額については、役位、担当職務、各期の業績、貢献度等に応じて、他社水準、経営環境も踏まえ、指名・報酬委員会で審議・決定しています。

■ 報酬決定の基本方針

当社の取締役の報酬等は、金銭による固定報酬としての基本報酬、業績連動報酬等と、非金銭報酬等とし、担当領域の規模・責任に応じた適正水準とすることを方針としております。

【取締役及び監査役に支払った報酬等の総額】

区分	報酬等の総額(百万円)	報酬等の種類別の額(百万円)		支給人数(人)
		基本報酬	業績連動報酬	
取締役(うち社外取締役)	74(12)	47(12)	26(一)	5(2)
監査役(うち社外監査役)	24(13)	24(13)	一(一)	5(4)
合計	99	72	26	10

(注) 1. 上記には、2023年6月24日開催の第29回定株主総会終結の時をもって退任した取締役1名及び監査役1名を含んでおります。

2. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

3. 業績運動報酬等の額の算定の基礎として参考にした業績指標の内容は、LTV、経常利益、売上高経常利益率、自己資本利益率であり、当該指標を選定した理由は、長期的かつ足元の会社拡大の指標及び中期目標としているためです。業績運動報酬等の額は、業績指標を基に、役員報酬内規で定めている、「職業普及実績・期待」「社会成長実績・期待」「職務を通じた実績・期待」の各テーマを業績に決定しております。

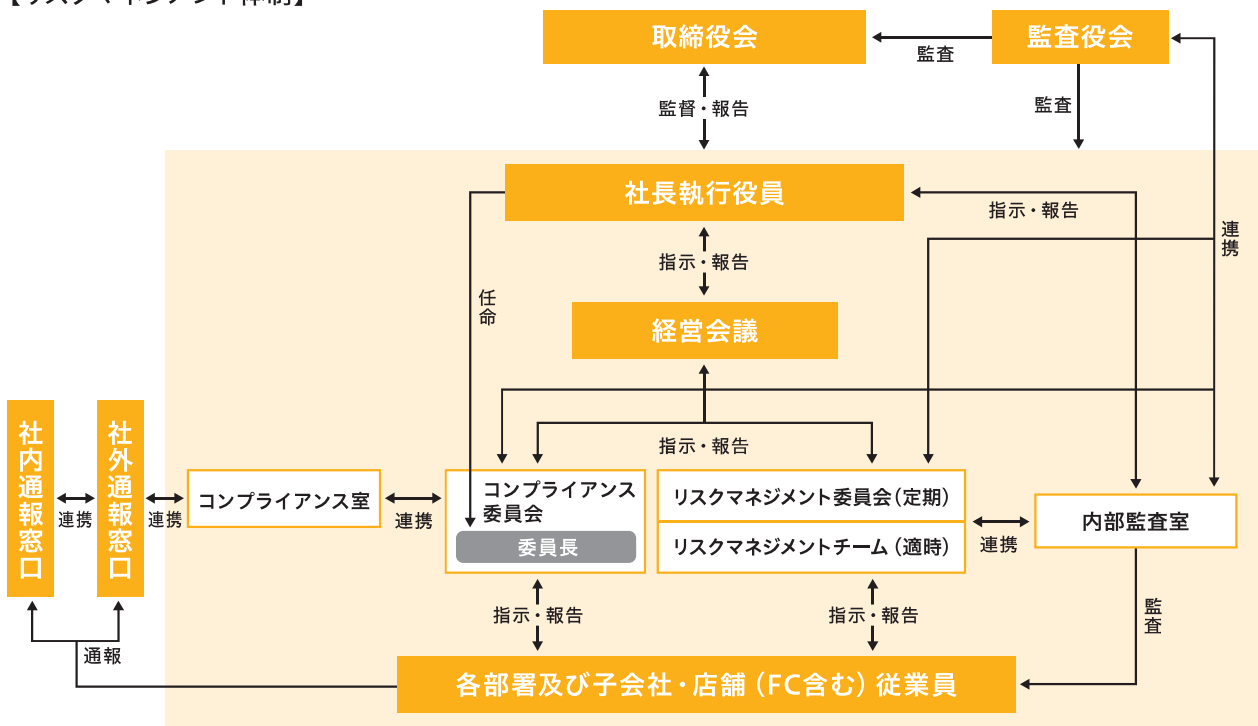
リスクマネジメント

事業等でのリスク

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重大な影響を与える可能性があると当社が認識している主要なリスクは、次のとおりです。当社グループではリスク発生の可能性を十分認識し、リスク発生を極力回避し、万が一発生した場合には損害を最小限にとどめるべく的確な対応に努めます。

当社のリスク管理体制は、リーガル担当部署が社内外におけるリスクの検討を行い、当社に及ぼす影響の大小や緊急性によりリスクレベルの格付に基づき、コンプライアンス委員会に報告をしています。必要に応じて「リスクマネジメントチーム」を組成し、それぞれのレベルに応じた予防対策を講じています。

【リスクマネジメント体制】



事業などでの 主要なリスク	リスクの詳細
事業環境に おけるリスク	競合他社が当社の知的財産権を侵害し類似競争をする場合や、侵害をしなくとも類似ビジネスを行うことで競争が激化した場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす。
	サービス商品の開発や提供の遅れ、あるいは提供後に関連コンテンツの販売中止や終了等、また当社のサービスの提供システムの障害などによりサービスの提供が困難となり、会員流出が急激に増加した場合は、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす。
	新規出店、閉店、賃貸物件の賃貸人が破産・倒産した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす。
	将来において予期せぬ法規制の制定や改正、行政等の指導方針変更や自主規制が求められた場合には、出店及び店舗営業の調整・遅延や新たな対応コストの発生、事業活動の制限等により、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす。
	想像を上回る地震・台風・洪水・津波・汚染などの自然災害、火災や停電、電力不足による計画停電、インフラの途絶等により店舗営業に支障が生じた場合、売上高の減少、費用の発生、事業継続面で、事業に影響を及ぼす。
サプライチェーン (事業環境、取引先に 起因するリスク)	製造元との取引関係により販売可能商品が限定されるなど、取扱商品の範囲が減少する場合、又は製造元のサプライチェーンなどの停滞による商品入荷の遅れなどによる場合、商品販売の減少に加え、商品に付帯する会員加入、技術サポート・サービス等の販売機会の損失につながる。
	特定の取引先、商品への依存が高まると、該当商品の取り扱いの可否、あるいは取り扱いの安定供給等、製造元の方針の変更によって、当社の人気商品の仕入れに影響を与え、お客様の需要に充分に応えられず、当社グループの業績に影響を及ぼす。
情報セキュリティ (システムトラブル、 個人情報保護)	地震などの自然災害、停電等のインフラの途絶、ハードウェア・ソフトウェアの不具合、アクセス集中による負荷、コンピューターウイルスの感染や外部からの攻撃、システムデータの喪失等によりシステム障害が発生した場合には、店舗オペレーション業務の中断、プレミアムメンバーシップをはじめとするサービス商品の提供中断、課金の停止や未回収等が生じる可能性がある。
	当社グループ関係者などの故意又は過失や、システム的不正アクセス、コンピューターウイルス感染等の不測の事態により、個人情報 が外部に流出したり悪用されたりすると、当社グループが損害賠償責任等を負う可能性や当社グループの信頼性が著しく低下することにより、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性がある。
経営体制に おけるリスク	人材の質の向上、量の確保、並びに今後の社会の多様化に対応した人材の確保が計画通りに進まず、適正な人材配置が困難となった場合、競争力の低下や一層の業容拡大の制約要因となる場合がある。
	当社グループ全体のブランドイメージが低下した場合、それによる当社グループに対する信頼低下、人材の流出、人材確保の困難等により、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす。
	規模の大きな会社により買収されるリスク、デジタルに重きを置いた社会構造の変化の進行により、異業種による買収リスクも想定され、その場合には、当社グループの事業及び業績に影響を与える。

役員の紹介

2024年11月30日時点

代表取締役社長執行役員

野島 隆久

取締役会出席率：94% (17回／18回)

選任理由

当社創業者であり、代表取締役として27年にわたり当社グループ経営を指揮し、他に類をみない革新的なビジネスモデル「サブスクリプション型プレミアムメンバー」を確立。グループ全体の更なる発展、及び改革に向け、既成概念にとらわれず強いリーダーシップを発揮している。

常勤監査役

浅山 隆嗣

監査役会出席率：100% (14回／14回)

選任理由

前職において、経営企画管理の統括及び執行責任を歴任し、経営全般に関して幅広く相当程度の知見と経験を有している。

取締役副社長執行役員

齋藤 秀樹

取締役会出席率：100% (18回／18回)

選任理由

マーチャンダイジングに関する幅広い知見を有しており、店舗運営及びマーケティングに関する責任者として、サブスクリプション型「プレミアムメンバー」の価値最大化及び営業力強化や、人材育成が期待でき、カスタマーサクセスを実現できる人材と判断した。

独立社外監査役

野口 誉成

監査役会出席率：100% (14回／14回)

選任理由

内外の企業において、内部統制・監査業務に長年にわたり携わり、コーポレート・ガバナンスの専門家として相当程度の知見と経験を有している。

独立社外取締役

井澤 秀昭

取締役会出席率：-% (-回／-回)

選任理由

長年弁護士として培われた専門的な知識・経験、幅広い見識等を有しております。法的視点から、経営判断の透明性と適正性を確保し、企業価値の向上に期待し、当社の社外取締役としてその職務を遂行できるものと判断した。

独立社外監査役 弁護士

加藤 佑子

監査役会出席率：100% (10回／10回)

選任理由

弁護士として、企業法務のみならず人事労務分野にも幅広い専門知識と実務経験を有し、取締役会の意思決定への助言、監査体制の法務面での強化、ならびに当社のガバナンス、内部統制への実効的な監査が期待できる。

独立社外取締役

大関 均

取締役会出席率：-% (-回／-回)

選任理由

投資会社、監査法人、アドバイザー企業で蓄積された豊富な経験に基づき、企業の状況を的確につかみ、一般論ではなく、現場目線での具体論での経営参画を期待し、当社の社外取締役としてその職務を遂行できるものと判断した。

取締役・監査役のスキルマトリックス

	役 職	管掌・担当	会員資本		経 営	営 業	IT DX	財務会計 内部統制	法 務 ガバナンス
			会員創り	プランナー創り					
野島 隆久	代表取締役社長執行役員	最高信頼財産向上責任者、 最高経営責任者、信頼財務委員長、 信頼財産保全委員長、チーフデザイナー	○	○	○	○	○		
齋藤 秀樹	取締役専務執行役員	全国信頼財産向上責任者 地域経営責任者 ストア事業統括	○	○	○	○			
井澤 秀昭	独立社外取締役	—							○
大関 均	独立社外取締役	—						○	
浅山 隆嗣	常勤監査役	—			○				○
野口 誉成	独立社外監査役	—					○	○	○
加藤 佑子	独立社外監査役	—							○

執行役員

2024年11月30日現在

代表取締役社長執行役員

野島 隆久

最高信頼財産向上責任者、
最高経営責任者、
信頼財務委員長、
信頼財産保全委員長、
チーフデザイナー

執行役員

長濱 義忠

ストア事業担当

取締役副社長執行役員

齋藤 秀樹

全国信頼財産向上責任者、
地域経営責任者、
ストア事業統括

執行役員

池口 孝

グループシステム担当

上席執行役員

島野 孝之

グループマーチャンダイジング
担当

執行役員

大須賀 一広

グループ監査担当

上席執行役員

篠崎 和也

グループ管理担当

執行役員

日向 大青

グループ人事担当

【執行役員制度の導入】

当社は、迅速な業務執行と経営責任を明確にするため、執行役員制度を採用しております。執行役員は、経営会議に出席し、経営上の意思決定を迅速に執行し、その執行状況を報告する役割を担っています。



グループフォーメーション

2024年11月30日時点



社会環境の変化に合わせ、機動力高く柔軟に対応するために、目的に応じて経営を分離させております。

各社の役割を明確にし、そのうえで執行と監督を切り分けることによりより強固なガバナンス体制が維持できると期待しています。

各種店舗形態

ピーシーデポスマートライフ店

PC DEPOT

PC DEPOT パソコンクリニック



IT機器に関するお客様のご不便をおうかがいすることに特化した店舗として、2013年より展開。気軽に立ち寄れるサードプレイスを目指して。



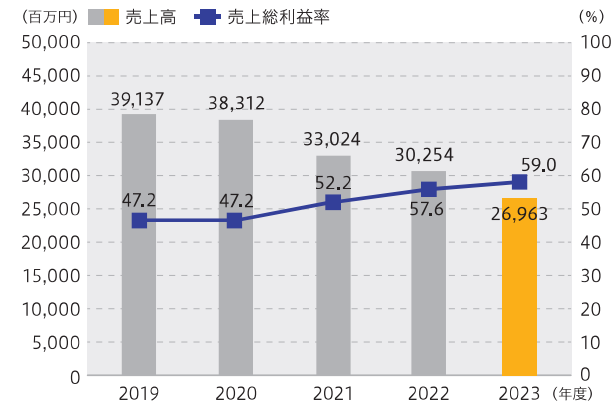
創業時から続く店舗で、パソコン、タブレット、スマートフォンをはじめとする幅広い商品をラインナップ。丁寧な対応でサポートも充実。



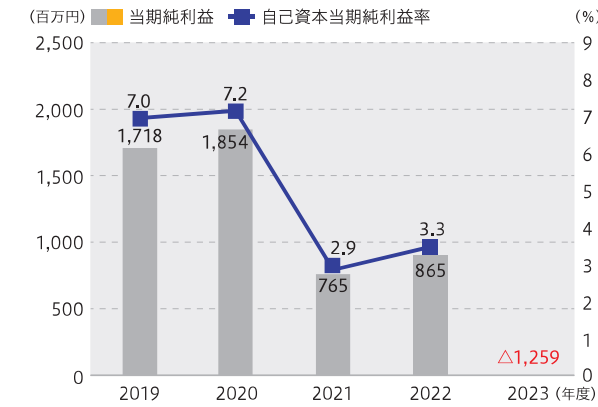
IT機器の故障やウイルス感染、データ破損などの不具合や、各種設定におけるトラブルの解決を目的とした修理総合窓口です。

財務ハイライト

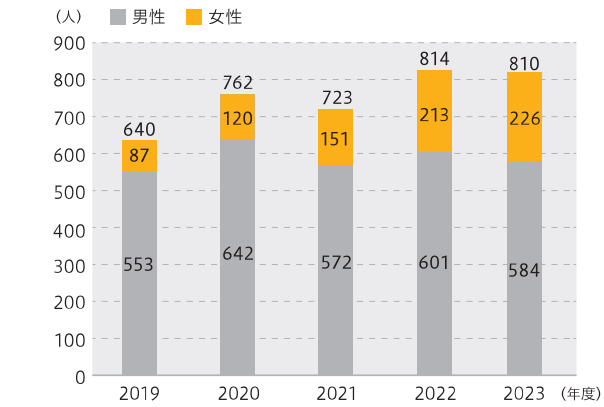
売上高/売上総利益率



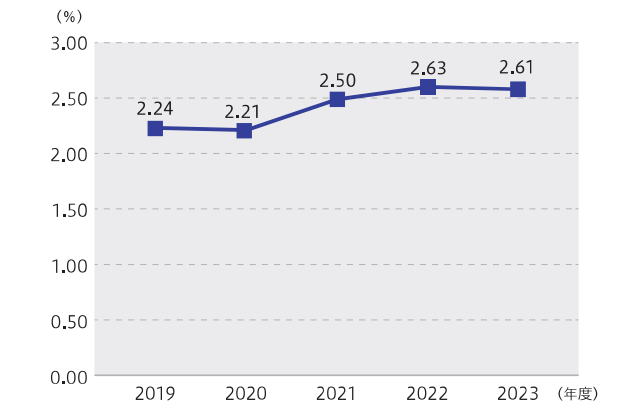
当期純利益/自己資本当期純利益率(ROE)



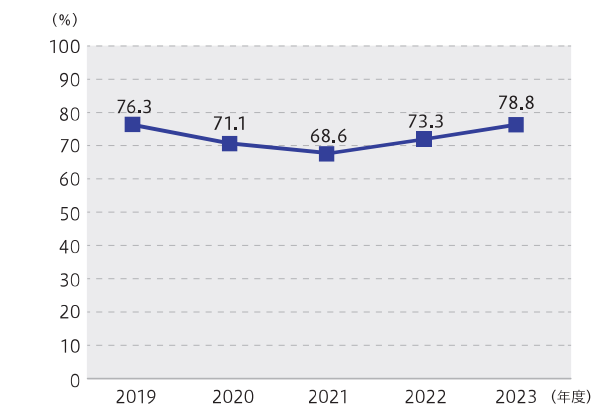
従業員数(単体)



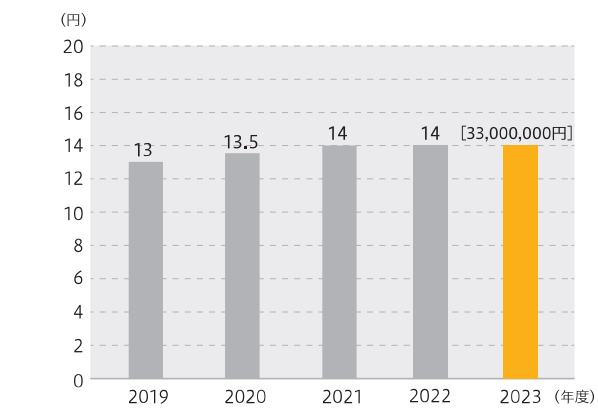
障がい者雇用率(単体)



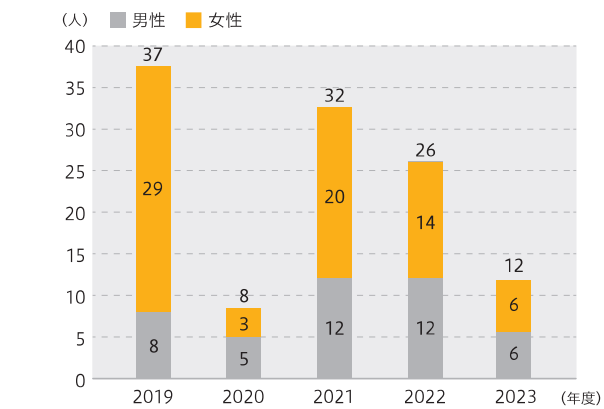
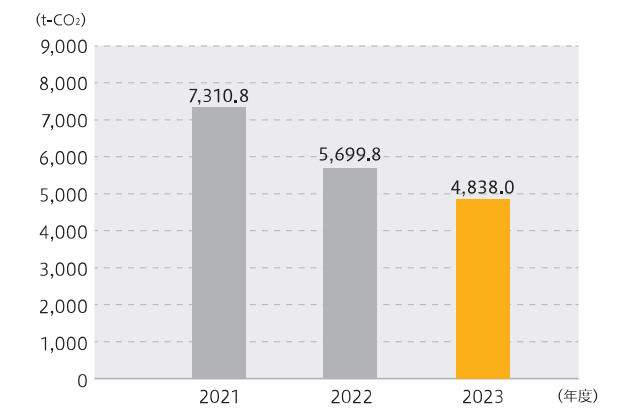
自己資本比率



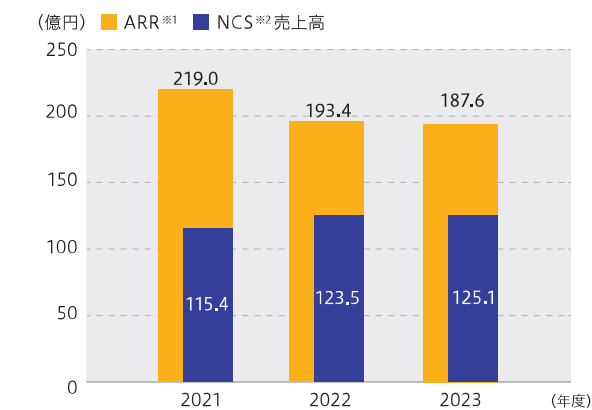
配当額



育児休業取得(単体)

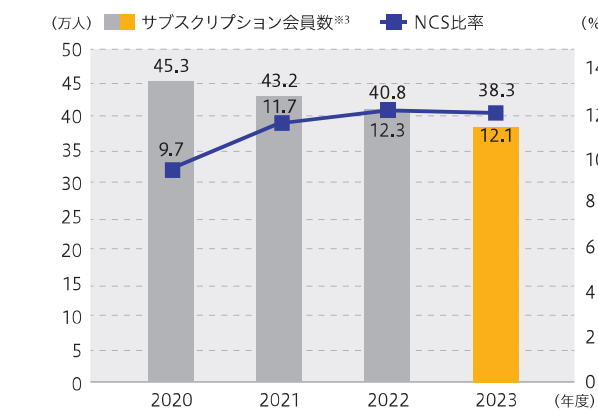
CO₂排出量

報告対象範囲：スマートライフ店：64 店舗、PC DEPOT：5 店舗、本社：2 拠点(2022 年移転)、くらしのデジタル館：2 館、物流センター：1 拠点 ※一部集計において想定データ含む

サブスクリプション年間売上高(ARR)^{※1}

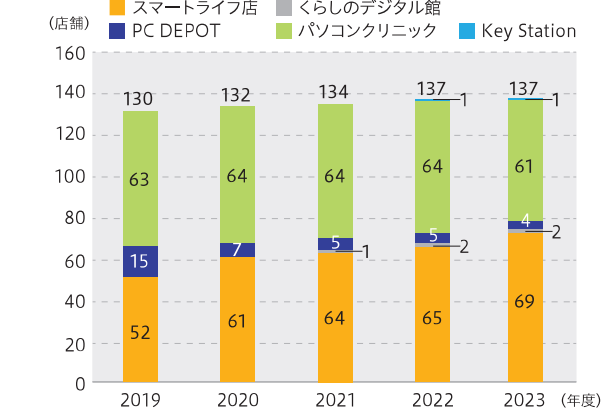
※1 ARR：会員のサブスクリプションに関する年間売上高
※2 NCS：ニューカスタマーサクセス会員

サブスクリプション会員数/NCS比率

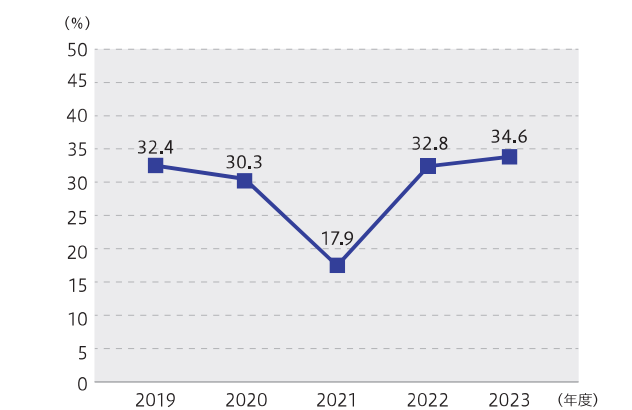


※3 サブスクリプション会員：定額会員制サービス利用会員
(インターネット関連事業における会員を除く)

店舗数/クリニック数



3年以内離職率



報告対象範囲：3 年前に入社した新卒

11カ年主要財務指標

(百万円)	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
売上高合計	51,359	53,772	51,261	51,729	46,417		43,590	40,447	39,137	38,312	33,024	30,254	26,963
商品	35,425	35,984	30,116	25,720	20,099		17,720	13,895	14,010	14,486	※3	-	-
サービス	14,006	16,194	19,696	24,631	24,984		24,566	25,270	23,842	22,558	※3	-	-
インターネット関連事業 (子会社)	1,758	1,419	1,310	1,267	1,258		1,241	1,216	1,227	1,203	※3	-	-
売上総利益	16,114	18,273	19,472	21,715	21,249		20,044	18,663	18,453	18,076	17,237	17,428	15,900
売上総利益率(%)	31.4	34.0	38.0	42.0	45.8		46.0	46.1	47.2	47.2	52.2	57.6	59.0
販売費及び一般管理費合計	15,246	16,017	16,426	17,628	17,846		17,062	16,083	15,512	15,183	15,786	15,583	15,022
広告宣伝費	1,644	1,276	1,042	1,073	842		1,030	749	638	601	757	385	185
給料及び手当	4,800	5,355	5,896	6,449	6,645		6,146	5,737	5,296	5,278	5,194	5,084	4,726
営業利益	867	2,256	3,045	4,086	3,402		2,981	2,579	2,941	2,893	1,451	1,844	878
経常利益	924	2,357	3,162	4,139	3,467		3,079	2,685	3,018	2,935	1,519	1,787	850
売上高経常利益率(%)	1.8	4.4	6.2	8.0	7.5		7.1	6.6	7.7	7.7	4.6	5.9	3.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	441	1,536	1,914	2,693	2,269		1,958	1,553	1,718	1,854	765	865	△1,259
1株当たり当期純利益(円)	2,020.07	68.39	50.4	67.41	44.06		38.63	30.94	34.18	36.79	15.15	17.09	-
1株当たり純資産(円)	44,123.77	526.03	394.9	496.19	445.65		462.11	479.94	500.77	524.59	520.96	523.44	-
自己資本当期純利益率※1(%)	4.7	13.4	13.5	14.8	10.3		8.5	6.6	7.0	7.2	2.9	3.3	-
総資産経常利益率※2(%)	4.0	9.5	11.3	12.9	9.8		8.7	7.8	9.1	8.4	4.0	4.8	-
自己資本比率(%)	42.3	49.3	51.5	60.9	64.4		66.2	71.7	76.3	71.1	68.6	73.3	-
期末発行済株式総数(株)	225,020	25,952,000	38,928,000	43,852,000	52,622,400		52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400	8
自己株式数(株)	6,238	623,800	937,035	924,735	1,107,585		2,431,425	2,416,545	2,291,506	2,188,866	2,073,806	1,941,766	0
1株当たり配当金(円)	700	355	10	11.5	14.3		13	13	13	13.5	14.0	14.0	33,000,000
配当性向(%)	34.7	12.4	16.5	17.1	29.5		33.7	42.0	38.0	36.7	92.4	81.9	-
時価総額	5,058	24,732	32,466	48,281	27,995		37,941	23,312	22,575	26,048	15,944	15,576	-
期末株価(円)	22,480	953	834	1,101	532		721	443	429	495	303	296	-

※ 過年度決算の訂正を行った期間の上記数値は、訂正後の数値を反映しております。(対象期間:2011年3月期～2017年3月期)
※1 自己資本当期純利益率=当期利益/期首・期末平均自己資本 ※2 総資産経常利益率=経常利益/期首・期末平均総資産
※3 2022年3月期にセグメント情報の見直しを行い、個別の開示を取りやめました。 ※4 非上場化に伴い一部の指標を比較してお示しできない場合があります。

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
店 舗													
店舗数合計(直営+子会社)	111	111	116	123	125		126	126	130	132	134	137	137
スマートライフ店	—	4	15	25	31		40	46	52	61	64	65	69
くらしのデジタル館	—	—	—	—	—		—	—	—	—	1	2	2
PC DEPOT	61	57	49	41	36		28	22	15	7	5	5	4
パソコンクリニック	50	50	52	57	58		58	58	63	64	64	64	61
Key Station												1	1

会社概要

2024年11月30日時点

社 名	株式会社ピーシーデポコーポレーション(略:PCD)
英 文 社 名	PC DEPOT CORPORATION
設 立 年 月 日	1994年8月
本 社 所 在 地	〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階
資 本 金	47億3,761万円
決 算 期	毎年3月31日
会 計 監 査 人	新創監査法人
主 な 事 業 内 容	●ご家庭を対象としたデジタル生活の提案及び関連商品やサービスの提供 ●地域に根差したデジタル生活の提案
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
子 会 社	●株式会社スマートライフホールディングス 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階 ●株式会社イージェーワークス 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー18階 ●株式会社スマートライフストアーズ 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階 ●株式会社スマートライフインベストメント 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階
店 舗 数	139拠点(横濱Key Station、FC 2拠点含む)
従 業 員	951名(連結)

編集方針

本報告書は、PCデポが社会課題を解決し、暮らしの豊かさを実現するためどのように考え、実行しているか会員様を中心に幅広いステークホルダーの皆様にお伝えし、当社グループの活動へのご理解を深めていただけるよう編集しています。

【対象範囲】株式会社ピーシーデポコーポレーション、およびグループ会社

【対象期間】2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の実績を中心に、これ以前からの取り組みや直近の活動報告などについても一部掲載しています。

【参考にしたガイドライン】経済産業省「価値協創ガイダンス」、GRI「サステナビリティ・レポートニング・スタンダード」、ISO26000

【発行時期】2025年3月発行(次回 2025年12月予定)

【将来の見通しに関する注意事項】

本報告書には、株式会社ピーシーデポコーポレーションおよびグループ会社についての業績予想や見通しの記述が含まれています。これらの記述は発行日時点において入手可能な情報に基づき、当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後さまざまな外部環境の要因などにより、予想とは異なる結果となる可能性があります。

全国で活躍するDLP

皆様のくらしの伴走者
地域のデジタルライフプランナー®

全ての会員ご家族様のくらしを止めない。
くらしにおけるデジタルの活用・使用に関わる
安全確保に努める担当として伴走していきます。

